

代議員総会・会員総会・評議員会

■日時：12月6日（土） 12:40～13:40

■会場：第1会場（2F シビックホール）

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC 奨励賞・優秀演題賞の授賞式ならびに ECC 奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

第22回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：12月6日（土） 13:40～14:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

第22回
日本エイズ学会学会賞
（シミック賞）
受賞講演

座長 杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

Plenary Lecture 1

■日時：12月5日（金） 11:00～12:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

Plenary Lecture 1 基礎・B

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■Speaker

PL01-1 The Changing Landscape of HIV Drug Resistance: What Comes Next?

Robert Shafer

Stanford University, USA

Plenary Lecture 2

■日時：12月6日（土） 10:20～11:20

■会場：第1会場（2F シビックホール）

Plenary Lecture 2 臨床・C

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）
仲村秀太（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科）

■Speaker

PL02-1 Clinical utility of HIV subtyping and drug resistance

Miłosz Stanisław Parczewski

Pomeranian Medical University in Szczecin, Poland

会長講演

■日時：12月6日（土） 14:10～14:25

■会場：第1会場（2F シビックホール）

会長講演

座長 杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

■演者

CH01-1 HIV 研究は人生そのものだ

吉村和久

東京都健康安全研究センター

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：12月6日（土） 16:55～18:55

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 「治療の手引き」 臨床・C

座長

満屋裕明（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所）
岡 慎一（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）
白阪琢磨（公益財団法人エイズ予防財団／国立病院機構大阪医療センター）
潟永博之（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

はじめに

満屋裕明

国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所

TR01-3 COVID-19 時代とエイズ症例

青木孝弘

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

What' New?

潟永博之

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

TR01-4 わが国の HIV 感染抑制と陽性者支援のためのプロジェクト < ZERO transmission in Japan by 2030 > について

白阪琢磨

公益財団法人エイズ予防財団／国立病院機構大阪医療センター

TR01-1 治療失敗から学ぶ長期作用型製剤の適正使用

今橋真弓

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

終わりに

岡 慎一

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

TR01-2 NRTI-sparing ART 下における HBV ワクチンの現状

木内 英

東京医科大学

医学教育事業委員会シンポジウム

■日時：12月6日（土） 18:50～20:20

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

医学教育事業 委員会 シンポジウム 臨床・C

エイズ学会医学教育事業主催
HIV 感染症患者における HPV
感染症予防と関連疾患治療に対
する最新の知見

座長

前田賢次（鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同
研究センター）

■演者

CS01-1 HIV 感染者における HPV 関連癌の課
題と展望

水島大輔

国立健康危機管理研究機構

CS01-2 高リスク集団における HPV ワクチン
接種の現状 — HIV-PrEP 利用 MSM
からの調査報告

塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック

HIV 感染症患者における HPV 感染予防と関連疾患治療に対する教育事業（MSD 医学医学教育事業助成）

* 本教育事業は、MSD 株式会社（公募型）医学教育事業助成の資金提供を受けて実施しています。

MSD 株式会社は、当該事業の企画・実施・管理に一切関与しておりません。

早期治療推進検討委員会シンポジウム

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

早期治療推進 検討委員会 シンポジウム 基礎・B/臨床・C/社会・S

ART の早期導入と継続に向け
た身体障害者手帳認定基準改正
への取り組み

座長

田沼順子（国際医療福祉大学）

■演者

導入

井上洋士

日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アク
セライト

CS02-1 身体障害者手帳が HIV に導入されるよ
うになった医療的・福祉的・社会的経
緯と意義

大平勝美（ビデオ出演）

元はばたき福祉事業団

CS02-2 免疫機能障害者認定基準改正要望書提
出をめぐるこれまでの学会の取り組み

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

CS02-3 HIV 陽性者対象の調査結果から見る
ART 開始の遅れと身体障害者手帳活
用状況

井上洋士

日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アク
セライト

CS02-4 障害者権利条約の障害・障害者の「定
義」・概念と日本の課題

佐藤久夫

日本障害者協議会／日本社会事業大学

CS02-5 身体障害者認定基準改正要望の方向性

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院感染症内科・感染制御部

シンポジウム

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 1 基礎・B

HIV cure へ向けたチャレンジ
／ Challenges Toward
Achieving an HIV Cure

座長

武内寛明（東京科学大学）
山本浩之（国立健康危機管理研究機構国立感染症
研究所）

■演者

SY01-1 HIV 感染症の機能的治癒を目指した新
規免疫療法の開発

山本拓也

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所難病・免疫
ゲノム研究センター

SY01-3 Decoding HIV Reservoirs to
Inform Cure Strategies

Xu Yu

Ragon Institute of MGB, MIT and Harvard
Harvard Medical School

SY01-2 HIV cure と HIV remission

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

シンポジウム 2 社会・S

コミュニティセンターにおける
HIV 検査を起点とした予防の
取り組みと社会への広がり

座長

本間隆之
船石翔馬（福岡コミュニティセンター HACO）

■演者

SY02-1 コミュニティセンター ZEL における
MSM を対象とした HIV 検査普及の取
り組み

太田ふとし

やろっこ

SY02-4 CBO が担う HIV 検査会の実践と課題

陰山朋久

MASH 大阪／公益財団法人エイズ予防財団／コミュニ
ティセンター dista

SY02-2 コミュニティセンター akta を起点と
した首都圏の MSM における HIV 検査
促進と受検環境整備の取り組み

木南拓也

特定非営利活動法人 akta／公益財団法人エイズ予防財団

SY02-5 福岡コミュニティセンター HACO に
おける MSM を対象とした HIV 検査支
援と予防の取り組み

船石翔馬

認定 NPO 法人魅惑的倶楽部／福岡コミュニティセン
ター HACO

SY02-3 コミュニティセンターにおける HIV 検
査を起点とした予防の取り組みと社会
への広がり

藤浦裕二

ANGEL LIFE NAGOYA

SY02-6 沖縄県における MSM を対象とした検
査の取り組みと課題

玉城祐貴

コミュニティセンター mabui

シンポジウム

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 3 基礎・B

HIV 潜伏感染メカニズム研究
の最前線／Frontiers in the
Study of HIV Latency
Mechanisms

座長

佐藤賢文（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）
白川康太郎（京都大学医学部附属病院血液内科）

■演者

SY03-1

Clinical significance of residual
HIV reservoirs under cART and
future perspectives toward
HIV cure

Kenji Maeda

Joint Research Center for Human Retrovirus
Infection, Kagoshima University

SY03-3

HIV cure strategies targeting
the temporal spatial dynamics
of HIV reservoir

Ya-Chi Ho

Department of Microbial Pathogenesis, Yale
University School of Medicine

SY03-2

Immune Targeting of HIV-1
reservoir cells

Mathias Lichterfeld

Ragon Institute of MGB, MIT and Harvard

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 4 基礎・B / 臨床・C / 社会・S

HIV 診療に関わる医療従事者
の世代交代
～先人たちの苦勞を若手にどう
伝えていくか～

座長

宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科）
白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）

■演者

SY04-1

何もわからず素手で立ち向かっていた
時代から今まで

高田 昇

元・広島大学病院 / おだ内科クリニック

SY04-2

少年易老学難成

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

シンポジウム

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 5 基礎・B

日本、先進国、アフリカの薬剤耐性ウイルスにおける現状と今後の対策について／Current Status and Future Strategies for Drug – Resistant HIV in Japan, the United States, and Africa

座長

上野貴将（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

■演者

SY05-1 Dolutegravir Resistance: A Call for Strategic Initiatives in Sub-Saharan Africa

Doreen Donald Kamori

Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

SY05-2 Surveillance of pretreatment HIV drug resistance in Japan

菊地 正

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所

SY05-3 Resistance to Key Antiretrovirals: Mechanisms, Frequency, and Clinical Impact

Robert Shafer

Stanford University, USA

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 6 社会・S

公的な HIV 検査・相談はこれからどこに向かえば良いのか

座長

貞升健志（東京都健康安全研究センター微生物部）
林田庸総（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

SY06-1 HIV 郵送検査の性質と活用について

林田庸総

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

SY06-4 東京都における公的 HIV 検査、地方衛生研究所としての疫学解析

貞升健志

東京都健康安全研究センター微生物部

SY06-2 医療機関における HIV 検査

渡邊珠代

石川県立中央病院免疫感染症科

SY06-5 大阪における HIV 検査について

浜みなみ

大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課

SY06-3 「HIV 検査相談研修会」から見えること

柏崎正雄

公益財団法人エイズ予防財団

SY06-6 福岡県における HIV 検査の現状と課題

中村麻子

福岡県保健環境研究所

シンポジウム

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 7 臨床・C

EACS LIVE! Case-based discussion

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）
今橋真弓（国立病院機構名古屋医療センター）

■パネリスト

Miłosz Parczewski
Pomeranian Medical University

■演者

SY07-1 A Fatal Case of AIDS Complicated by Kaposi's Sarcoma-Associated Inflammatory Cytokine Syndrome (KICS)

徳永佳尚

久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門

SY07-2 Successful treatment of thyroid eye disease complicated by HIV infection with teprotumumab, an anti-insulin-like growth factor-1 receptor antibody

船田将史¹⁾、宮川一平^{1,2)}、鳥本桂一¹⁾、
久保智史¹⁾、中山田真吾¹⁾

1) 産業医科大学第1内科学講座、2) 産業医科大学医学部分子標的治療内科学講座

■日時：12月6日（土） 16:45～17:45

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

シンポジウム 8 基礎・B

第2回 他分野を知り HIV/AIDSを知る

座長 原田恵嘉（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所）
池田輝政（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

SY08-1 ヒトT細胞白血病ウイルス1型の生存戦略と成人T細胞白血病の発がん機構

安永純一郎

熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科

SY08-2 エムボックスウイルスに対する創薬研究

渡士幸一

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所治療薬開発研究部

シンポジウム

■日時：12月6日（土） 19:00～20:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 9 社会・S

新エイズ予防指針の実装と展望：
流行終息に向けたマルチステークホルダーによる対話の場

座長 岩橋恒太（特定非営利活動法人akta）
吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

小谷聡司
厚生労働省

SY09-1 ウイルス側から見た日本の HIV 流行動向

菊地 正
国立健康危機管理研究機構

SY09-2 新エイズ予防指針案の論点

四本美保子
東京医科大学病院臨床検査医学科

SY09-3 新エイズ予防指針への CBO の参画と今後の課題
ーコミュニティからの提言ー

岩橋恒太
特定非営利活動法人 akta

SY09-4 改定エイズ予防指針における新たな課題の可視化と今後の考察

白阪琢磨
公益財団法人エイズ予防財団 / 国立病院機構大阪医療センター

■日時：12月7日（日） 8:30～10:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 10 臨床・C

災害時を再考する
～ Resilience を高めるには～

座長 山下和範（長崎大学病院災害医療支援室）
阿部憲介（国立病院機構仙台医療センター）

■演者

SY10-1 災害時における HIV 陽性者への治療継続支援 ～能登半島地震の経験から～

石井智美
石川県立中央病院

SY10-2 災害から学んだ医療連携と情報共有の
大切さ - 薬剤師の立場から -

阿部憲介
国立病院機構仙台医療センター

SY10-3 HIV 感染症を乗り越えて、人が困難に
巻き込まれた時に思うこと（HIV 感染
症、東日本大震災等の経験から）

早坂典生
特定非営利活動法人りょうちゃんず

SY10-4 熊本県における災害時保健医療福祉活動

劔 陽子
熊本県阿蘇保健所 / 熊本県健康福祉部健康危機管理課

シンポジウム

■日時：12月7日（日） 9:00～10:30

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 11 臨床・C

高齢期を迎える HIV 陽性患者
の医療ニーズと地域医療の活用
について

座長

中田浩智（熊本大学感染免疫診療部）
長與由紀子（国立病院機構九州医療センター看護
部）

■演者

SY11-1 HIV 陽性者が抱える併存疾患と必要な
医療体制の検討

杉野祐子

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

SY11-4 HIV 感染者の高齢化に伴う生活上の問
題と課題 ～訪問看護の立場から～

岡野美岐子

医療法人永田会東熊本第2病院在宅部

SY11-2 エイズ中核拠点病院と非拠点病院～双
方の勤務から見たもの

柳澤邦雄

深谷赤十字病院

SY11-5 医療施設型ホスピス「医心館」での HIV
陽性者受け入れの現状と療養の実際

高橋めぐみ

株式会社アンビス研修企画部

SY11-3 HIV 治療における薬局薬剤師の役割と
今後の展望－地域連携強化に向けた取
組みと課題－

上妻弘明

株式会社タカラ薬局

■日時：12月7日（日） 9:00～10:30

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

シンポジウム 12 社会・S

性風俗産業従事者のための受検
勧奨と予防啓発
～コミュニティベースによる実
践と課題～

座長

東 優子（大阪公立大学大学院現代システム科学
研究科人間科学分野）
青山 薫（神戸大学国際文化学研究所）

■演者

SY12-1 性風俗産業に従事するトランスジェン
ダーのセクシャルヘルスの実態と課題

金子典代

名古屋市立大学大学院看護学研究科

SY12-3 セックスワーカーやトランスジェン
ダーのための HIV/AIDS・性感染症予
防の現状と課題

宮田りりい

関西大学人権問題研究室／さんきトランス・ミーティング／
SWASH／MASH 大阪

SY12-2 セックスワーカーを対象としたコミュ
ニティベースの取り組みについて

げいまきまき

SWASH／MASH 大阪

■コメンテーター

宇野健司

南奈良総合医療センター

池袋 真

LUNA クリニック

シンポジウム

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 13 社会・S

高齢期の「住まいと療養」を考える
—受入れ経験から学ぶ課題とヒント—

座長

大里文誉（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）
宮崎菜穂子（川崎市保健所）

■演者

SY13-1 高齢期 HIV 陽性者の社会的脆弱性とレジリエンス -- 交差性理論と地域連携をつなぐ架け橋

大島 岳

明治大学情報コミュニケーション学部

SY13-3 HIV 感染症の方の老人保健施設受け入れに対する体制作りと当施設介護職員の意識変化について

千葉義明

台東区立老人保健施設千束

SY13-2 受け入れて判った HIV 感染者の在宅医療・介護と療養入院が抱える問題と今後の課題

大石 毅

医療法人財団圭友会小原病院 / 東京医科大学臨床検査医学分野

SY13-4 HIV 陽性者を地域で支えるということ～医療法人における受入れ実践から見た課題と展望～

山本友美

医療法人社団誠仁会夫婦石病院

SY13-5 「くらし」を支え、地域のチームで伴走するために - 在宅診療所の立場から -

土屋菜歩

医療法人社団やまと やまと在宅診療所栗原

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 14 臨床・C

チーム医療からみる“こころ”とはなにか

座長

木村聡太（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

木村宏之（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野）

■演者

SY14-1 こころの共鳴のための心がけ

成田 雅

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

SY14-4 心理職が考える“こころ”

安尾利彦

国立病院機構大阪医療センター臨床心理室 / 臨床研究センター

SY14-2 長期療養時代における HIV 感染者の「こころ」の支援 HIV コーディネーターナースによるケア実践

鈴木ひとみ

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター看護部

SY14-5 HIV 陽性者に特徴的なメンタルヘルスの課題とは

高橋卓巳

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

SY14-3 薬剤師からみる“こころ”とは

松木克仁

国立病院機構名古屋医療センター薬剤部

ポジティブトークセッション

■日時：12月5日（金） 15:20～16:50

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ポジティブトーク
セッション

POSITIVE TALK 2025

座長

吉村和久（東京都健康安全研究センター）
大島 岳（特定非営利活動法人ぶれいす東京 / 特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

■スピーカー

HIV 陽性者 5 名

メモリアルサービス

■日時：12月5日（金） 16:50～17:50

■会場：第1会場（2F シビックホール）

メモリアル
サービス

第15回 世界エイズデー メモリアルサービス
～生命（いのち）をつなぐ～

■企画者

有志

AIDSで亡くなられた人、亡くなられた人たちを追悼したい人たちがいる。世界エイズデーメモリアルサービスでは、HIV/AIDSに関わる人たちが、年齢、性別、性的指向、信仰、医療者と患者の枠を超え、ありのままの気持ちでいられる場を提供したい。また今も HIV と共に生きている陽性者やこれからの時代を担って行く、全ての人たちが命をつなぎ、明日への希望を覚える時を共に過ごしたい。

日本エイズ学会認定講習会（医師）

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第1会場（2F シビックホール）

日本エイズ学会
認定講習会
（医師）
臨床・C

HIV 予防・臨床における検査
update
～ HIV、STI、BBV、HPV 関
連癌の診断再考～

座長 南 留美（国立病院機構九州医療センター）
水島大輔（国立健康危機管理研究機構）

■演者

TR02-1 検査をもっとラクに、もっと身近に：
iTesting の取り組みから見たもの
今橋真弓
国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・
免疫研究部

TR02-2 民間クリニックにおける検査事業を通
じた HIV/STI 検査・治療・予防・情報
提供の一元化モデル
石内崇勝
一般社団法人天照会いだてんクリニック

TR02-3 ハイリスク集団における Blood-
Borne VIRUS(BBV) 感染の実態調
査の報告
上村 悠
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ
治療・研究開発センター

TR02-4 HPV 関連がんの診断再考を考える
安藤尚克
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ
治療・研究開発センター

日本エイズ学会認定講習会（看護師）

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

日本エイズ学会
認定講習会
（看護師）
臨床・C

HIV 感染症患者の受診継続支
援について考える

座長 城崎真弓（国立病院機構九州医療センター）
木下一枝（国立大学法人広島大学病院）

■演者

TR03-1 戸蒔祐子
慶応義塾大学病院

TR03-2 田中美佐子
産業医科大学病院

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

■日時：12月7日（日） 14:00～15:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

日本エイズ学会認定
HIV 感染症指導看護師
向けアドバンスト研修
臨床・C

発達段階における患者の課題を
踏まえた病気の打ち明け・受け
止め支援のあり方

座長 松山奈央（公立大学法人横浜市立大学附属病院）
宮城京子（琉球大学病院）

■演者

TR04-1 高木雅敏
熊本大学病院

TR04-4 東 政美
大阪医療センター

■企画担当

TR04-2 宮城京子
琉球大学病院

TR04-5 平山江美
東京女子医科大学病院

TR04-3 大野稔子
北海道難病連

TR04-6 松山奈央
公立大学法人横浜市立大学附属病院

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

HIV 感染症薬物
療法認定・専門薬
剤師認定講習会
臨床・C

薬害エイズより学ぶ HIV 感染
症診療のよもやま話と医療者
としての使命を考える

座長 畛井浩子（T & T タウンファーマ株式会社）
増田純一（国立健康危機管理研究機構国立国際医
療センター）

■演者

TR05-1 薬害エイズより学んだこと
岡 慎一
国立健康危機管理研究機構エイズ治療・研究開発センター
名誉センター長

TR05-3 薬害エイズで薬剤師として学んだこと
井門敬子
社会医療法人仁友会南松山病院

TR05-2 薬害エイズと医薬品早期承認制度
花井十伍
特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

TR05-4 薬害エイズから学んだ HIV 感染症診療
と学ぶ HIV 感染症診療
小島賢一
医療法人財団荻窪病院

市民公開講座

■日時：12月7日（日） 16:00～17:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

市民公開講座

エイズの現在地
～報道されない本当の姿～

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

武田真一
アナウンサー

本田美和子
国立病院機構東京医療センター総合内科医長

松下修三
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

Scientific Engagement Satellite Symposium

■日時：12月6日（土） 16:45～18:45

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

Scientific Engagement Satellite Symposium

個別化医療の実現へ：臨床検査、指標、コミュニケーションの活用
Advancing Personalized Medicine
for PLWH: Harnessing Clinical Tests,
Indicators, and Communication

座長 松下修三（熊本大学）

■演者

SESS01-1 Chloe Orkin
Queen Mary University of London

SESS01-3 吉野友祐
帝京大学

SESS01-2 谷口俊文
千葉大学

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社メディカルアフェアーズ

ミニシンポジウム

■日時：12月7日（日） 9:00～10:00

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ミニシンポジウム 社会・S

厚生労働研究「血液製剤による
HIV/HCV 重複感染患者に対
する肝移植を含めた外科治療に
関する研究」江口班のこれまでの
成果と今後の展開

座長

江口 晋（長崎大学大学院 移植・消化器外科学
教授）
四柳 宏（国立健康危機管理研究機構 理事（研究
連携推進担当））

■演者

MSY01-1 基調講演

秋野公造

参議院議員（福岡県選出）

MSY01-2 これまでの成果

日高匡章

島根大学医学部 消化器・総合外科 教授

MSY01-3 鼎談

江口 晋

長崎大学大学院 移植・消化器外科学 教授

鼎談

上平朝子

国立病院機構大阪医療センター 感染症内科・感染制御部
部長

鼎談

肝移植患者

共催：厚生労働省エイズ対策研究事業
「血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者
に対する外科治療の標準化に関する研究」班

共催シンポジウム

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポ ジウム 1

LAI (Long-Acting-Injection)
治療の臨床的価値と患者との協
働による意思決定支援

座長

谷口俊文（千葉大学）

■演者

SS01-1 谷口俊文

千葉大学

SS01-3 仲村秀太

琉球大学

SS01-2 Moti Ramgopal

Midway Specialty Care Center in Florida,
United States

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

共催シンポジウム

■日時：12月5日（金） 15:20～17:20

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

共催シンポジウム 2

HIV 感染症と Premature Aging

座長 岡 慎一（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 特任教授）
（国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター／ACC 名誉センター長／国立療養所多磨全生園 特命副園長）

■演者

SS02-1 Premature Aging と高齢化
一臓器からみる PWH の課題と対策

南 留美

国立病院機構九州医療センター AIDS /
HIV 総合治療センター 部長

SS02-3 HIV 陽性者の代謝疾患管理
一適切な食事、運動療法とは？

田村好史

順天堂大学大学院医学研究科
スポーツ医学・スポーツロジ／代謝内分泌学 教授

SS02-2 Premature Aging を踏まえた
ART の個別化治療

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター
臨床研究センターエイズ先端医療研究部長

共催：MSD 株式会社

■日時：12月5日（金） 15:20～17:20

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポジウム 3 認定講習会・ 薬剤師

薬剤師ワークショップ： これからの HIV 診療を支える 薬剤師の視点と実践

座長 増田純一（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部）
矢倉裕輝（国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部）

■演者

SS03-1 抗 HIV 治療の変遷とこれからの HIV
診療を支える薬剤師の役割

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ
先端医療研究部

SS03-3 HIV 診療の person-centered
care における薬剤師の役割
- 薬局薬剤師の視点から -

田橋美佳

薬樹薬局三ツ沢

SS03-2 HIV 診療の person-centered
care における薬剤師の役割
- 病院薬剤師の視点から -

松木克仁

国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤部

SS03-4 HIV 診療におけるファーマシューティ
カル・ケアと evidence generation
の実践

阿部憲介

国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

共催シンポジウム

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポジウム 4

HIV/AIDS 治療の将来を見据えた 2 剤レジメンの在り方

座長 渡邊 大（大阪医療センター）

■演者

SS04-1 B 型肝炎リスクを考慮した治療選択
青木孝弘
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SS04-3 長期治療における薬剤切り替えの選択
渡邊 大
大阪医療センター

SS04-2 初回診療における治療選択
白野倫徳
大阪市立総合医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：12月6日（土） 14:40～16:40

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

共催シンポジウム 5

HIV-1 感染症の根治に向けて
-5
～根治再考、そして次の一手へ～

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）
石田尚臣（デンカ株式会社）

■演者

SS05-1 「HIV-1 感染症の根治に向けて」4 年の歩み
石田尚臣
デンカ株式会社

SS05-3 抗 HIV 療法の変遷と展望
瀧永博之
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター／エイズ治療・研究開発センター

SS05-2 HIV 陽性者が考える治療と根治の未来
井上洋士
HIV Futures Japan プロジェクト／株式会社アクセライト

SS05-4 HIV 感染症の根治を目指した検査戦略の現状と未来
佐藤賢文
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

共催：デンカ株式会社

共催シンポジウム

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

共催シンポジウム 6

ViiV Medical Education Symposium
HIV 診療における、より良い共同意思決定
(Joint Decision Making) に必要なもの
とは

座長 矢嶋敬史郎（都立駒込病院）

■演者

SS06-1 矢嶋敬史郎
都立駒込病院

■演者兼パネリスト：50 音順

緒方 釈 熊本大学病院

奥井裕斗

小嶋道子 駒込病院

灰来人 notAlone Fukuoka

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第3会場（3F 会議室 A4）

共催シンポジウム 7

HIV 陽性者にとっての Long-Term Success とは
～患者中心の医療アプローチ～

司会

高久陽介（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者
ネットワーク・ジャンププラス）
松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）

【第一部】

■演者

SS07-1 ヤス
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・
ジャンププラス

SS07-2 井上洋士
株式会社アクセライト

【第二部】パネルディスカッション

■パネリスト

猪狩英俊
千葉大学

井上洋士
株式会社アクセライト

高久陽介
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・
ジャンププラス

ヤス
特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・
ジャンププラス

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

ランチョンセミナー

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

ランチョン セミナー 1

将来を見据えた HIV 治療選択
～患者ニーズの変化と治療薬の
進歩～

座長

潟永博之（国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者

LS01-1 診療所における HIV 診療の実際
～6年間のビクトルビの使用経験から～

山中 晃

新宿東口クリニック

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ランチョン セミナー 2

血友病・長期治療の課題
～熊本取組から考える～

座長

葛田衣重（千葉大学病院 感染制御部 特任研究
員）

三嶋一輝（福井大学病院 地域医療連携部 総括
医療ソーシャルワーカー）

■演者

LS02-1 P-Live とともに歩んで 40 年～それぞ
れの長期療養に寄り添う～

松下修三

熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター・抗ウ
イルス・血液疾患研究共同研究講座 臨床レトロウイルス
学分野 特任教授

LS02-2 薬害 HIV 感染被害者救済：在宅就労か
ら社会参加へ

田中良明

特定非営利活動法人在宅就労支援事業団 理事長

共催：KM バイオロジクス株式会社

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

ランチョン セミナー 3

ベトナムにおける HIV/AIDS 管理
-アジアにおける ARO ネットワークから-
HIV/AIDS Management in Vietnam
-From ARO Network in Asia-

座長

杉浦 互（国立健康危機管理研究機構 臨床研究
センター センター長）

■演者

LS03-1 ARISE: International
Collaboration and Clinical Trial
Network Development for
Infectious Diseases with a
Focus on Vietnam

時田大輔

国立健康危機管理研究機構臨床研究センター
インターナショナルトライアル部 部長

LS03-2 HIV/AIDS management in
Vietnam

Dr. Vo Hai Son

ベトナム保健省疾病予防管理局 副局長

共催：国立健康危機管理研究機構

ランチョンセミナー

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ランチョン セミナー 4

持効性注射剤、どう伝える？ど
う導入する？
～実臨床からの課題解決のヒン
ト～

座長 照屋勝治（国立国際医療センター）

■演者

LS04-1 照屋勝治
国立国際医療センター

LS04-3 保科育生
東京慈恵会医科大学病院

LS04-2 小西啓司
大阪医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

ランチョン セミナー 5

長期療養時代のPWHの個別化
治療

座長 木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野 主
任教授）

■演者

LS05-1 HIV の生活習慣病とがん – 長期診療に
おける臨床の Update
関谷綾子
がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科 医長

LS05-2 抗 HIV 療法のパーソナライズ化
—NNRTI の位置づけ—
安達英輔
東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：MSD 株式会社

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ランチョン セミナー 6

血友病

座長 今村淳治（仙台医療センター HIV/AIDS 包括診
療センター 室長）

■演者

LS06-1 血友病診療における医療行動経済学
平井 啓
大阪大学大学院人間科学研究科

LS06-2 血友病の治療変遷 - エミシズマブのエ
ビデンス -
古川晶子
大阪医療センター 血友病科

共催：中外製薬株式会社

ランチョンセミナー

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

ランチョン セミナー7

長期療養について考える
～通院できなくなる その時
どうする？～

座長 南 留美（九州医療センター 免疫感染症内科長）

■演者

LS07-1 長期療養の支援ニーズに応える社会的
支援の可能性

黒岩泰代

セコム医療システム株式会社

LS07-3 高齢化する HIV 感染症患者の診療・介
護・看取りを考える地域医療機関との
連携を目指して

猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院 感染症制御部長・感染症内科長
教授

LS07-2 地域支援者との相互理解による医療・
介護体制の構築

高橋昌也

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

共催：セコム医療システム株式会社

■日時：12月7日（日） 12:30～13:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ランチョン セミナー8

PWH が求める「将来を見据え
た治療選択」を再考する

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）

■演者

LS08-1 現代 HIV 診療の課題と展望～5つの要
素に基づくビクトルビ配合錠の臨床的
有用性～

中田浩智

熊本大学病院 感染免疫診療部

S08-2 将来を見据えた HIV 診療を考える～耐
性バリアの高い薬剤選択と重要性～

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ワークショップ1（臨床・C） PEP・PrEP・STI・STD

座長 水島大輔

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

石内崇勝

（一般社団法人天照会 いだてんクリニック）

WS01-1 北海道・沖縄県における PrEP 促進キャンペーンの広報活動とその課題

生島 嗣¹⁾、三輪岳史¹⁾、玉城祐貴²⁾、
赤嶺友紀²⁾、沼田栗実³⁾、秋山 満³⁾、
国見亮佑⁴⁾、竹内 仁⁵⁾、池田詩子⁶⁾、
池田 博⁷⁾、市原浩司⁸⁾、仲村秀太⁹⁾、
新里尚美⁹⁾、谷口俊文¹⁰⁾、水島大輔¹¹⁾

- 1) ぶれいす東京
- 2) コミュニティセンター mabui
- 3) レッドリボンさっぽろ
- 4) にじいろほっかいどう
- 5) WAVE さっぽろ
- 6) 宮の森レディースクリニック
- 7) 池田内科
- 8) 札幌中央病院
- 9) 琉球大学医学部
- 10) 千葉大学病院
- 11) 国立国際医療センター

WS01-2 PrEP 利用促進キャンペーン ―札幌における実装研究の経過報告―

池田詩子¹⁾、池田 博²⁾、市原浩司³⁾、
砂押研一⁴⁾、生島 嗣⁵⁾、三輪岳史⁵⁾、
水島大輔⁶⁾

- 1) 宮の森レディースクリニック
- 2) 医療法人社団池田内科
- 3) 札幌中央病院 泌尿器科
- 4) ていね駅前泌尿器科
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

WS01-3 沖縄県における HIV-PrEP 導入体制の構築と利用実態に関する実装研究

仲村秀太¹⁾、新里尚美¹⁾、生島 嗣²⁾、
山本和子¹⁾、水島大輔³⁾

- 1) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科
- 2) 認定 NPO 法人ぶれいす東京
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

WS01-4 ワンコイン検査受診者の STI 高リスク層から考える検査・予防・治療の分離解消

清水健伍¹⁾、石内崇勝^{1,2)}、傳寶優希¹⁾、
三上 蓮¹⁾、吉田菜乃¹⁾、坂元奈桜¹⁾、
吉田昂汰¹⁾、水島大輔^{2,3)}

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月6日（土） 15:40～17:00

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

ワークショップ2（社会・S） 耐性検査と疫学

座長 林田庸総

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

菊地 正

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

WS02-1 新規 HIV-1 診断例の薬剤耐性検査データを用いた分子疫学的解析

林田庸総、瀧永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

WS02-2 東京都内公的検査機関での HIV 陽性例における薬剤耐性関連変異の検出状況

小泉美優¹⁾、北村有里恵¹⁾、黒木絢士郎¹⁾、
河上麻美代¹⁾、浅倉弘幸¹⁾、菊地 正²⁾、
三宅啓文¹⁾、長島真美³⁾、千葉隆司¹⁾、
貞升健志¹⁾、吉村和久³⁾

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 3) 東京都健康安全研究センター

WS02-3 HIV-1 陽性例を用いた感染初期検体に関する検討

北村有里恵¹⁾、小泉美優¹⁾、河上麻美代¹⁾、
黒木絢士郎¹⁾、浅倉弘幸¹⁾、三宅啓文¹⁾、
長島真美²⁾、千葉隆司¹⁾、貞升健志¹⁾、
西塚 至³⁾、城所敏英⁴⁾、吉村和久²⁾

- 1) 東京都健康安全研究センター 微生物部
- 2) 東京都健康安全研究センター
- 3) 東京都保健医療局
- 4) 元東京都新宿東口検査・相談室

WS02-4 献血者における HIV-1 陽性率、サブタイプ、薬剤耐性変異の解析

吉政 隆、蕎麦田理英子、松林圭二、谷 慶彦
日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所

WS02-5 大阪府における HIV 確認検査陽性検体における HIV 薬剤耐性変異と分子疫学解析

阪野文哉¹⁾、浜みなみ¹⁾、川畑拓也¹⁾、菊地 正²⁾

1) 地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
2) 国立健康危機管理研究機構

WS03-4 日本国内の一般住民における HIV 関連知識の多寡、HIV パブリックスティグマ、HIV 陽性者に対する社会的距離の状況、及びそれらの関連要因の検討

井上洋士¹⁾、大北全俊²⁾、戸ヶ里泰典³⁾、細川陸也⁴⁾、稲元洋輔⁵⁾、山崎 厚⁶⁾、白阪琢磨⁶⁾

1) 株式会社アクセライト
2) 滋賀医科大学
3) 放送大学
4) 京都府立医科大学
5) 公益社団法人 国際経済労働研究所
6) 公益社団法人エイズ予防財団

■日時：12月6日（土） 17:00～18:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

ワークショップ3（社会・S）

行動科学・意識調査

座長 戸ヶ里泰典

（放送大学 教養学部）

三輪岳史

（認定 NPO 法人ふれいす東京 研究・研修部門）

WS03-5 Positive Perspectives 3 研究（PP3）のデータが示す、U=U（検出限界値未満＝感染しない）に関する認知度・信頼性・安心感のさらなる普及の必要性

Rickesh Patel¹⁾、Brent Allan²⁾、Garry Brough³⁾、Mario Cascio⁴⁾、Erika Castellanos⁵⁾、Antonella Cingolani⁶⁾、Vuyiseka Dubula⁷⁾、W. David Hardy⁸⁾、Kota Iwahashi⁹⁾、Sindy Mbundwini¹⁰⁾、Marta McBritton¹¹⁾、Mary Ndung'u¹²⁾、Bruce Richman¹³⁾、Mercy Shibemba¹⁴⁾、Ama Appiah¹⁾、Dainielle Fox¹⁾、Mariel Mayer¹⁾ 笹井明日香¹⁵⁾

1) ViiV Healthcare, London, UK
2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
11) Barong, Sao Paulo, Brazil
12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
14) BBC Children in Need, Manchester, UK
15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

WS03-1 健康に関する統制の所在が保健行動およびスティグマに及ぼす影響

神野未佳¹⁾、安尾利彦^{1,2)}、西川歩美²⁾、森田眞子²⁾、富田朋子²⁾、宮本哲雄²⁾、水木 薫²⁾、牧 寛子²⁾、渡邊 大¹⁾

1) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター
2) 大阪医療センター臨床心理室

WS03-2 HIV/AIDS の自己責任認識に関する調査 - 他疾患との比較を通して -

金井講治^{1,2)}、長瀬亜岐¹⁾、池田 学²⁾

1) 三重大学保健管理センター
2) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学

WS03-3 U=U の知識および HIV 陽性の友人の有無と、性行為に関する意思決定との関連

三輪岳史^{1,2)}、山口正純³⁾、生島 嗣¹⁾、若林チヒロ⁴⁾、Carol Strong²⁾

1) 認定 NPO 法人ふれいす東京
2) 国立成功大学公共衛生学系
3) 博慈会長寿リハビリセンター病院
4) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科

WS03-6 国内におけるゲイ男性のボディイメージに関する定量的調査

松本武士^{1,3,4)}、星野藍子²⁾

- 1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 博士後期課程
- 2) 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻
- 3) 医療法人社団大和会 大内病院
- 4) にじいろリハネット

■日時：12月6日(土) 17:55～19:10

■会場：第3会場 (3F 会議室 A4)

ワークショップ4 (基礎・B)
若手研究者口演

座長 佐藤賢文

(熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

池田輝政

(熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

WS04-1 HIV-1 Vif による APOBEC3H 二量体の部位特異的ユビキチン化機構の構造学的基盤

松岡和弘¹⁾、Katarzyna Skorupka²⁾、
Vanivilasini Balachandran²⁾、
松尾 浩²⁾、岩谷靖雅^{1,3)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research, NCI, NIH
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 基礎医学領域

WS04-2 Genome-wide CRISPR Screening to Identify Genes Regulating the Stability of the HIV-1 Tat Protein

Caroline Jelagat¹⁾、
Ryosuke Nomura¹⁾、Hiroyuki Matsui¹⁾、
Tadahiko Matsumoto¹⁾、
Yusuke Tashiro¹⁾、
Yoshinobu Konishi¹⁾、
Yusuke Okamoto¹⁾、
Tomoshige Shimizu¹⁾、Kotaro Suzuki¹⁾、
Kazunari Aoki²⁾、Kosuke Yusa²⁾、
Takaori-Kondo Akifumi¹⁾、
Kotaro Shirakawa¹⁾

- 1) Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Kyoto University
- 2) Laboratory of Stem Cell Genetics, Institute of Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

WS04-3 A Novel Human Microglial Clone-Based Model to characterize HIV-1 Latency in CNS

Randa A Abdelnaser、
Youssef M. Eltalkhawy、Shinya Suzu

Division of Infection and Hematopoiesis,
Joint Research Center for Human Retrovirus
Infection, Kumamoto University, Kumamoto,
Japan.

WS04-4 腸内細菌由来の細胞外小胞が HIV リザーバーの維持に果たす役割

石坂 彩¹⁾、水谷壮利^{2,3)}、古賀道子^{4,5)}、
山本浩之³⁾、四柳 宏^{1,4,6)}

- 1) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 4) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 5) 東京大学 国際高等研究所 新世代感染症センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構

WS04-5 Integrated single cell analysis of HTLV-1 specific CD8 T cells in peripheral blood and cerebrospinal fluid from HAM/TSP patients

Md Saiful Islam¹⁾、
Kenji Sugata¹⁾、Benji Jek Yang Tan¹⁾、
Mitsuyoshi Takatori¹⁾、
Md Samiul Alam Rajib¹⁾、
Omnia Reda¹⁾、Masahito Tokunaga²⁾、
Toshiya Nomura³⁾、Teruaki Masuda³⁾、
Makoto Nakashima^{4,5)}、
Tomoo Sato^{4,5)}、
Mitsuharu Ueda³⁾、Atae Utsunomiya²⁾、
Yoshihisa Yamano^{4,5)}、
Yorifumi Satou¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス感染症共同研究センター ゲノミクス・トランスクリプトミクス部門
- 2) Department of Hematology, Imamura General Hospital
- 3) Department of Neurology, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 4) Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine
- 5) Department of Neurology, St. Marianna University School of Medicine

■日時：12月5日（金） 9:10～10:10

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演1（臨床・C）

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎 1

座長 高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

菊池 嘉

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター）

001-1 抗 HIV・抗結核療法中に発症したトキソプラズマ脳炎の一例

窪野裕太^{1,2)}、川島 亮^{1,3,4)}、中本貴人^{1,4)}、川原史也³⁾、佐々木充子¹⁾、桑田 亮¹⁾、阿部静太郎¹⁾、井上恵理¹⁾、安藤尚克¹⁾、柳川泰昭¹⁾、上村 悠¹⁾、水島大輔^{1,4)}、青木孝弘¹⁾、永宗喜三郎³⁾、照屋勝治¹⁾、瀧永博之^{1,4)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 総合感染症科 / 国際感染症センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部
- 4) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

001-2 HIV 感染判明時に進行性多巣性白質脳症 (PML) を合併していた後天性免疫不全症候群 (AIDS) の2症例

木村 哲¹⁾、内田康裕¹⁾、亀井奈緒美¹⁾、深津真彦¹⁾、阿部亜妃子²⁾、移川基子³⁾、梅宮真衣⁴⁾、木村奈津子⁴⁾、野田ゆかり⁵⁾、松本貴智⁶⁾、岩崎紗織⁷⁾、金井数明²⁾、池添隆之¹⁾

- 1) 福島県立医科大学 血液内科学講座
- 2) 福島県立医科大学 脳神経内科学講座
- 3) 福島県立医科大学付属病院 薬剤部
- 4) 福島県立医科大学付属病院 看護部
- 5) 福島県立医科大学付属病院 心身医療科
- 6) 福島県立医科大学 大学健康管理センター
- 7) 福島県立医科大学付属病院 医療連携相談室

001-3 播種性 Mycobacterium avium complex 症による免疫再構築症候群に合併した形質芽球性リンパ腫の1例

三浦基嗣¹⁾、相澤陽太¹⁾、関谷綾子¹⁾、福島一彰¹⁾、山本浩貴¹⁾、吉田恭子¹⁾、鶴飼康平^{1,2)}、鄭 瑞雄¹⁾、田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、今村顕史¹⁾

- 1) 都立駒込病院 感染症科
- 2) 東京都保健医療局 感染症対策部 調査・分析課

001-4 未治療の HIV 陽性者に生じた肝原発多発 Burkitt リンパ腫の1例

丸木孟知¹⁾、馬渡桃子¹⁾、内野康志²⁾、谷口博順²⁾、小倉瑞生³⁾、上田晃弘¹⁾

- 1) 日本赤十字社医療センター 感染症科
- 2) 日本赤十字社医療センター 消化器内科
- 3) 日本赤十字社医療センター 血液内科

001-5 Temporal Trends and HIV-Stratified Risk of Peripheral Neuropathy During Rifampicin-Resistant TB Treatment in South Africa

Yui Shintani^{1,2)}、Jason E. Farley³⁾、Kelly Lowensen³⁾、Marie Diener-West¹⁾

- 1) Bloomberg school of public health, Johns Hopkins University
- 2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan institute for Health Security
- 3) Nursing Leadership and Innovation Johns Hopkins University School of Nursing

001-6 HIV 陽性 MSM における肛門擦過細胞診の実施状況と異型扁平上皮細胞の頻度に関する検討

渋谷晃子、森 信好

聖路加国際病院感染症科

■日時：12月5日（金） 9:10～10:10

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演2（社会・S）

政策・医療体制

座長 岩橋恒太

（特定非営利活動法人 akta）

和田秀穂

（川崎医科大学 総合臨床医学）

002-1 日本エイズ学会における早期治療推進検討委員会の設立とその目的

井上洋士^{1,10)}、田沼順子^{2,10)}、谷口俊文^{3,10)}、四本美保子^{4,10)}、松下修三^{5,10)}、椎野禎一郎^{6,10)}、生島 嗣^{7,10)}、高久陽介^{8,10)}、金子典代^{9,10)}、葛田衣重^{3,10)}、杉浦 互^{6,10)}

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 国際医療福祉大学医学部
- 3) 千葉大学医学部附属病院
- 4) 東京医科大学病院
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 認定 NPO 法人ぶれいす東京
- 8) NPO 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 10) 一般社団法人日本エイズ学会

002-2 HIV 陽性者の精神科受診促進に向けた連携構築に関する実態調査—全国のエイズ診療拠点病院に勤務する感染症内科医への調査（第一報）—

香月邦彦¹⁾、平川夏帆²⁾、石丸大貴³⁾、鈴木麻希^{4,5)}、池田 学⁵⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 大阪大学医学部附属病院 神経科精神科
- 3) 大阪大学医学部附属病院 医療技術部リハビリ部門 神経科精神科
- 4) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学
- 5) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室

002-3 HIV 陽性者の精神科受診促進に向けた連携構築に関する実態調査—全国のエイズ診療拠点病院に勤務する感染症内科医への調査（第二報）—

平川夏帆¹⁾、鈴木麻希^{2,3)}、香月邦彦^{3,4)}、増田柚衣^{3,4,5)}、池田 学³⁾

- 1) 大阪大学医学部附属病院 神経科精神科
- 2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 京都大学大学院 人間・環境学研究科

002-4 診療所における HIV 感染症診療の試み - 第 18 報

根岸昌功、河村（荒井）祐貴子、河野小夜子、西岡春菜

ねぎし内科診療所

002-5 性感染症科目を併設した HIV 診療クリニックの意義 — 2 年目の報告 —

迫田直樹¹⁾、中川あゆみ¹⁾、矢倉裕輝^{1,2)}、白阪琢磨^{1,2)}、古林敬一¹⁾

- 1) たによんスタートクリニック
- 2) 国立病院機構大阪医療センター

002-6 がん末期の血友病（類縁疾患含む）患者と HIV 陽性者の緩和ケア病棟での受入れについて

岡本 学^{1,5)}、渡邊 大²⁾、相木佐代³⁾、関根知嘉子^{4,5)}、長谷川友美^{4,5)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV 地域医療支援室
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター緩和ケア内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センターがん相談支援センター
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室

■日時：12 月 5 日（金） 9:10 ～ 10:00

■会場：第 6 会場（3F 会議室 D1-2）

口演 3（臨床・C）

臨床薬理・PK/PD・薬剤耐性

座長 矢倉裕輝

（国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部）

菊地 正

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

003-1 ビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド配合錠投与時のテノホビル血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝^{1,2)}、中内崇夫²⁾、岸田啓太郎²⁾、祝洸太郎²⁾、小西啓司³⁾、廣田和之³⁾、上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾、渡邊 大^{1,3)}

- 1) 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
- 3) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

003-2 曝露前予防内服における乾燥ろ紙血中の TFV-DP および FTC-TP 濃度についての検討

土屋亮人¹⁾、林 善治²⁾、劉 晶楽²⁾、Hieu Trung Tran^{1,3)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、水島大輔^{1,3)}、岡 慎一^{1,3)}、潟永博之^{1,3)}、濱田哲暢²⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立がん研究センター 研究所 分子薬理研究分野
- 3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

003-3 大量失血を伴う手術時におけるレナカパビルの血中濃度の推移

遠藤知之^{1,2)}、田澤佑基^{2,3)}、新井崇之³⁾、後藤秀樹^{2,4)}、松川敏大^{2,4)}、荒 隆英^{2,4)}、長谷川祐太^{2,4)}、長井 惇^{4,5)}、森木朝子^{4,5)}、高橋知希^{4,5)}、後藤了一^{2,6)}、嶋村 剛⁷⁾、原 貴信⁸⁾、曾山明彦⁸⁾、江口 晋^{2,4)}、豊嶋崇徳^{2,4)}

- 1) 北海道大学病院 感染制御部
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院 薬剤部
- 4) 北海道大学病院 血液内科
- 5) エイズ予防財団
- 6) 北海道大学病院 消化器外科 I
- 7) 北海道大学病院 臓器移植医療部
- 8) 長崎大学大学院 移植・消化器外科学

003-4 2024 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向

菊地 正¹⁾、西澤雅子¹⁾、林田庸総¹⁾、
 瀧永博之¹⁾、豊嶋崇徳²⁾、吉田 繁³⁾、
 伊藤俊広⁴⁾、古賀道子⁵⁾、長島真美⁶⁾、
 貞升健志⁶⁾、佐野貴子⁷⁾、宇野俊介⁸⁾、
 谷口俊文⁹⁾、猪狩英俊⁹⁾、寒川 整¹⁰⁾、
 中島秀明¹⁰⁾、吉野友祐¹¹⁾、堀場昌英¹²⁾、
 茂呂 寛¹³⁾、渡邊珠代¹⁴⁾、今橋真弓¹⁵⁾、
 松田昌和¹⁵⁾、重見 麗¹⁵⁾、岩谷靖雅¹⁵⁾、
 横幕能行¹⁵⁾、渡邊 大¹⁶⁾、阪野文哉¹⁷⁾、
 川畑拓也¹⁷⁾、藤井輝久¹⁸⁾、高田清式¹⁹⁾、
 末盛浩一郎¹⁹⁾、中村麻子²⁰⁾、南 留美²¹⁾、
 松下修三²²⁾、仲村秀太²³⁾、小島潮子¹⁾、
 Lucky Runtuwene¹⁾、椎野禎一郎¹⁾、
 吉村和久⁶⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構
- 2) 北海道大学
- 3) 北海道医療大学
- 4) 仙台医療センター
- 5) 東京大学
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 神奈川県衛生研究所
- 8) 慶應義塾大学
- 9) 千葉大学
- 10) 横浜市立大学
- 11) 帝京大学
- 12) 東埼玉病院
- 13) 新潟大学
- 14) 石川県立中央病院
- 15) 名古屋医療センター
- 16) 大阪医療センター
- 17) 大阪健康安全基盤研究所
- 18) 広島大学
- 19) 愛媛大学
- 20) 福岡県保健環境研究所
- 21) 九州医療センター
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学

■日時：12月5日（金） 10:10～11:00

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 4（臨床・C）

抗 HIV 療法 1

座長 中田浩智

（熊本大学 感染免疫診療部）

村松 崇

（東京医科大学病院 臨床検査医学科）

004-1 Efficacy and Safety After Switch to Doravirine/Islatravir (100/0.25 mg) Once Daily: Week 48 Results From Two Phase 3 Studies in Adults Living With HIV-1

木内 英¹⁾、瀧永博之²⁾、
 横幕能行³⁾、白阪琢磨⁴⁾、宮澤有哉⁵⁾、
 山田桃香⁵⁾、Stephanie O. Klopfer⁶⁾、
 Rima Lahoulou⁷⁾、Jason Yun Kim⁶⁾、
 Luisa M. Stamm⁶⁾、Michelle C. Fox⁶⁾、
 初澤由香理⁵⁾

- 1) 東京医科大学病院
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
- 4) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
- 5) MSD 株式会社
- 6) Merck & Co., Inc.
- 7) MSD France

003-5 BIC/TAF/FTC による初回の抗ウイルス療法に耐性を示し DRV/cobi/TAF/FTC+DTG(BID) への切り替え後に治療成功が得られた HIV 感染症の一例

西谷真来¹⁾、小宅達郎¹⁾、工藤正樹²⁾、
 朝賀純一²⁾、岡野良昭¹⁾、古和田周吾¹⁾、
 伊藤薫樹¹⁾

- 1) 岩手医科大学 内科学分野 血液腫瘍内科
- 2) 岩手医科大学附属病院薬剤部

004-2 Efficacy and Safety by Age After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg): Week 48 Results from Two Phase 3 Studies in Adults Living with HIV-1

Pablo Tebas¹⁾、Frank A. Post²⁾、
Moti Ramgopal³⁾、Marcel Stoeckle⁴⁾、
Andrew Carr⁵⁾、Olayemi O. Osiyemi⁶⁾、
Ronald G. Nahass⁷⁾、
Harold P. Katner⁸⁾、Jason Szabo⁹⁾、
Anjana Grandhi¹⁰⁾、Monica Fuszard¹¹⁾、
Stephanie O. Klopfer¹⁰⁾、
Rima Lahoulou¹¹⁾、Luisa M. Stamm¹⁰⁾、
Michelle C. Fox¹⁰⁾、Jason Kim¹⁰⁾、
近藤孝行¹²⁾

- 1) Penn Center for AIDS Research, University of Pennsylvania
- 2) King's College Hospital NHS Foundation Trust
- 3) Midway Immunology and Research Center
- 4) University Hospital Basel, University of Basel
- 5) St Vincent's Hospital, Sydney
- 6) Triple O Research Institute
- 7) Infectious Disease Care
- 8) Mercer University School of Medicine
- 9) L'Actual Medical Clinic
- 10) Merck & Co., Inc.
- 11) MSD France
- 12) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

004-3 Weight and Body Composition After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg) from BIC/FTC/TAF: Week 48 Results From a Phase 3 Study

Chloe Orkin¹⁾、Fiona R. Bisshop²⁾、
瀧永博之³⁾、Douglas L. Cunningham⁴⁾、
Anthony M. Mills⁵⁾、
Christopher J. Bettacchi⁶⁾、
Carolina E. Chahin Anania⁷⁾、
Michelle C. Fox⁸⁾、Yayun Xu⁸⁾、
Stephanie O. Klopfer⁸⁾、
Luisa M. Stamm⁸⁾、Rima Lahoulou⁹⁾、
服部純子¹⁰⁾

- 1) Queen Mary University of London
- 2) Holdsworth House Medical Practice
- 3) AIDS Clinical Center, Japan Institute for Health Security
- 4) Pueblo Family Physicians Ltd
- 5) Men's Health Foundation
- 6) HIV Center, North Texas Infectious Diseases Consultants
- 7) Hospital Hernan Henriquez Aravena
- 8) Merck & Co., Inc.
- 9) MSD France
- 10) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

004-4 Evaluation of Fasting Lipids and Insulin Resistance After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg): Week 48 Results From Two Phase 3 Studies

Alexandra Calmy¹⁾、Amy Colson^{2,3)}、
John R. Koethe⁴⁾、Julie Fox⁵⁾、
Simiso M. Sokhela⁶⁾、瀧永博之⁷⁾、
Peter J. Ruane⁸⁾、
Gordon E. Crofoot⁹⁾、
Princy N. Kumar¹⁰⁾、
Mark T. Bloch¹¹⁾、Jason Kim¹²⁾、
Michelle C. Fox¹²⁾、Anjana Grandhi¹²⁾、
Stephanie O. Klopfer¹²⁾、
Luisa M. Stamm¹²⁾、Rima Lahoulou¹³⁾、
服部純子¹⁴⁾

- 1) Geneva University Hospital, University of Geneva
- 2) Community Resource Initiative
- 3) Cambridge Health Alliance
- 4) Vanderbilt University Medical Center
- 5) Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Guy's Hospital
- 6) Ezintsha Research Centre, Faculty of Health Sciences, University of the Witwatersrand
- 7) AIDS Clinical Center, Japan Institute for Health Security
- 8) Ruane Clinical Research Group
- 9) The Crofoot Research Center, Inc.
- 10) Georgetown University Medical Center
- 11) Holdsworth House
- 12) Merck & Co., Inc.
- 13) MSD France
- 14) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

004-5 HIV 患者における抗 HIV 療法前後の HIV 潜伏感染細胞の測定に関する研究

宮田美保¹⁾、土屋亮人¹⁾、川島 亮^{1,2)}、
松田幸樹³⁾、前田賢次³⁾、佐藤賢文²⁾、
瀧永博之^{1,2)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演5（社会・S） 薬害・陽性者支援

座長 中尾 綾

（愛媛大学大学院医学系研究科 感染制御学）

岡本 学

（国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室 HIV 地域医療支援室）

005-1 HIV カウンセラーの教育支援体制構築に向けた九州ブロックにおける実態調査

関口 愛¹⁾、長浦由紀²⁾、曾我真千恵³⁾

1) 大分大学医学部臨床薬理学講座

2) 長崎大学病院総合診療科

3) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

005-2 薬害 HIV 患者への「お声がけ」の試みに関する現状の整理と意義の検討

宮本哲雄¹⁾、安尾利彦²⁾、森田眞子²⁾、
富田朋子²⁾、西川歩美²⁾、水木 薫²⁾、
牧 寛子²⁾、神野未佳³⁾

1) 大阪医療センター臨床心理室 / HIV 地域医療支援室

2) 大阪医療センター臨床心理室

3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

005-3 「ゆる会」実施報告

加藤力也¹⁾、大島 岳^{1,2)}、牧原信也¹⁾、
生島 嗣¹⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

2) 明治大学

005-4 薬害 HIV 感染被害者における在宅就労支援の取り組み：ペイシェントジャーニーを考慮した支援成果

田端 聡¹⁾、ライアン 千穂¹⁾、久地井寿哉^{3,4)}、
岩野友里³⁾、柿沼章子³⁾、菊池庸介²⁾、
田中良明²⁾

1) NPO 法人リンパカフェ

2) NPO 法人在宅就労支援事業団

3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

4) 公益財団法人エイズ予防財団

005-5 HIV 陽性者参加のフォーカス・グループ・インタビューを通じて得られた、免疫機能障害による身体障害者手帳制度の認定基準改正と早期治療開始に対する意向と課題

井上洋士¹⁾、高久陽介²⁾、大島 岳³⁾、
細川陸也⁴⁾、戸ヶ里泰典⁵⁾

1) 株式会社アクセライト

2) NPO 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

3) 明治大学情報コミュニケーション学部

4) 京都府立医科大学医学部

5) 放送大学

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演6（基礎・B） 複製感染機構

座長 門出和精

（熊本大学 大学院生命科学部 微生物学講座）

櫻木淳一

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

006-1 Analysis of the effect of virologically unique synonymous single-nucleotide mutations on the HIV-1 gene expression

Quoc Bao Le¹⁾、Quoc Khanh Tran¹⁾、
駒 貴明¹⁾、土肥直哉¹⁾、近藤智之¹⁾、
稲元佑真²⁾、足立昭夫¹⁾、野間口雅子¹⁾

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部

2) 徳島大学理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム

006-2 Regulation of HIV-1 tat mRNAs production by altering nucleotide sequence surrounding the SA3 site

Quoc Khanh Tran¹⁾、Quoc Bao Le¹⁾、
駒 貴明¹⁾、土肥直哉¹⁾、近藤智之¹⁾、
伊藤颯真²⁾、久保慈英²⁾、森 大²⁾、
稲元佑真³⁾、足立昭夫¹⁾、野間口雅子¹⁾

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部

2) 徳島大学医学部医学科

3) 徳島大学理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム

006-3 P-B04-1 LENACAPAVIR INHIBITS VIRAL FORMATION AT THE LATE STAGE OF THE HIV-1 LIFE CYCLE

Wright Andrews Ofotsu Amesimeku¹⁾、
Yoshihiro Nakata²⁾、Hirotaka Ode²⁾、
Nami Monde¹⁾、Hiromi Terasawa¹⁾、
Perpetual Nyame¹⁾、Md. Jakir Hossain¹⁾、
Terumasa Ikeda³⁾、Akatsuki Saito⁴⁾、
Tomohiro Sawa¹⁾、Yosuke Maeda¹⁾、
Yasumasa Iwatani²⁾、Kazuaki Monde¹⁾

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) National Hospital Organization Nagoya Medical Center. Clinical Research Center, Department of Infectious Diseases and Immunology.
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 4) Department of Veterinary Medicine, University of Miyazaki.

006-4 増殖性マクロファージの同定と HIV 感染との関連

高橋尚史、Sara Habash、鈴 伸也

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

006-5 マエディ・ビスナウイルスベクター系の樹立とレンチウイルス比較解析への展開

Alhaji M. Jalloh^{1,2)}、中村伊沙³⁾、
萩原克郎³⁾、上野貴将²⁾、徳永研三^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所 感染病理部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類

■日時：12月5日(金) 13:30～14:20

■会場：第6会場(3F 会議室 D1-2)

口演 7 (臨床・C)

U=U と拳児希望・母子感染・歯科 1

座長 小田知生

(国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科)

高鍋雄亮

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 歯科・口腔外科)

007-1 歯科衛生士教育機関における HIV 感染症の教育ツール作成に関する調査研究

中川裕美子¹⁾、宇佐美雄司²⁾、小田知生²⁾

- 1) 大手前短期大学 歯科衛生学科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科

007-2 卒後臨床研修歯科医師における HIV/AIDS に関する認識についての検討

宇佐美雄司¹⁾、佐藤 淳²⁾、後藤 哲³⁾、
斎藤夕子⁴⁾、丸岡 豊⁵⁾、高木純一郎⁶⁾、
鹿野 学⁷⁾、柴 秀樹⁸⁾、吉川博政⁹⁾

- 1) 名古屋医療センター 歯科口腔外科
- 2) 北海道大学大学院歯学研究科口腔診断内科学教室
- 3) 仙台医療センター 歯科口腔外科
- 4) 新潟大学歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野
- 5) 国立国際医療センター 歯科・口腔外科
- 6) 石川県立中央病院 歯科口腔外科
- 7) 大阪医療センター 歯科口腔外科
- 8) 広島大学大学院歯系科学研究科歯髄生物学研究室
- 9) 九州医療センター 歯科口腔外科

007-3 HIV 感染血友病患者の抜歯処置に関する課題の検討

宮本里香¹⁾、上村 悠¹⁾、大金美和¹⁾、
池田和子¹⁾、野崎宏枝¹⁾、佐々木愛美¹⁾、
鈴木ひとみ¹⁾、杉野祐子¹⁾、谷口 紅¹⁾、
栗田あさみ¹⁾、大杉福子¹⁾、高橋昌也¹⁾、
木村聡太¹⁾、近藤順子²⁾、中本貴人¹⁾、
高鍋雄亮²⁾、丸岡 豊²⁾、湯永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療センター 歯科・口腔外科

007-4 HIV をふくむ性感染症に関する知識・情報の普及啓発 ～SNS を用いた情報発信の長期的動向～

高野政志^{1,2)}、喜多恒介^{2,3,4)}、川島史奈⁴⁾、
鈴木ひとみ^{2,3,5)}、羽柴知恵子^{2,3,6)}、
三上由美子^{2,3,7)}、出口雅士^{2,8)}、杉浦 敦^{2,9)}、
田中瑞恵^{2,10)}、喜多恒和^{2,11)}、高橋尚子^{2,12)}、
吉野直人^{2,12)}

- 1) 防衛医科大学校医学教育部医学科産科婦人科学講座
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」
- 3) 分担班「多様な世代の国民向け HIV 感染妊娠の情報啓発アプローチの実践と基盤開発に向けた研究」
- 4) 株式会社キタイエ
- 5) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発 センター
- 6) 名古屋医療センター看護部エイズ治療 開発センター
- 7) 防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学講座
- 8) 神戸大学大学院医学研究科 外科系 講座産科婦人科 / 地域社会医学・健康 科学講座地域医療ネットワーク学分野
- 9) 武蔵野赤十字病院 産婦人科
- 10) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 小児科
- 11) 株式会社 農と科学の喜多研究所
- 12) 愛知県立大学看護学部

007-5 死因の変化からみる HIV と共に生きる人々（PWH）への療養支援を考える

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、仲村秀太²⁾、石郷岡美穂³⁾、上原 仁⁴⁾、大田久美子⁴⁾、上 薫³⁾、照屋美波⁵⁾、山川奈津子⁶⁾、新里尚美⁷⁾、金城隆展⁸⁾

- 1) 琉球大学病院看護部
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 3) 琉球大学病院医療福祉センター
- 4) 琉球大学病院薬剤部
- 5) 琉球大学病院精神科神経科
- 6) 琉球大学病院検査・輸血部
- 7) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部

■日時：12月5日（金） 14:30～15:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 8（社会・S）
薬害

座長 藤井輝久

（広島大学病院 輸血部 エイズ医療対策室）

長尾 梓

（関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科）

008-1 国立国際医療センターにおける薬害 HIV 感染者の入院に関する実態調査

井上桃花¹⁾、影森彩夏¹⁾、嶋津佑乃¹⁾、前田愛子¹⁾、陳 麻理¹⁾、河原崎彩佳²⁾、大木悦子³⁾、池田和子⁴⁾、瀧永博之⁴⁾、青木孝弘⁴⁾、照屋勝治⁴⁾、上村 悠⁴⁾、大金美和⁴⁾、大杉福子⁴⁾

- 1) 国立国際医療センター看護部
- 2) 国立国際医療センター人材開発部研修課
- 3) 国立看護大学校研究課程部
- 4) エイズ治療・研究開発センター

008-2 全国の HIV 感染血友病等患者の薬害被害救済のために、ACC 救済医療室で行っている活動

上村 悠、大杉福子、佐藤愛美、野崎宏枝、鈴木ひとみ、大金美和、木村総太、高橋昌也、宮本里香、中本貴人、青木孝弘、照屋勝治、瀧永博之

国立健康危機管理機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

008-3 中核拠点病院およびブロック拠点病院連携による非拠点病院通院薬害 HIV 感染被害患者への支援

柿沼章子¹⁾、久地井寿哉^{1,2)}、岩野友里¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

008-4 薬害 HIV 被害血友病患者における支援接続を阻む要因と今後の支援体制の課題：拠点病院通院患者への支援事例

岩野友里¹⁾、久地井寿哉^{1,2)}、柿沼章子¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

008-5 薬害 HIV 感染被害者の医療アクセスにおける移動負担の実態と関連要因

久地井寿哉^{1,2)}、岩野友里¹⁾、柿沼章子¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

008-6 被害者カテゴリーのパラドックス（二律背反性）

山田富秋¹⁾、早坂典生²⁾、種田博之³⁾、入江恵子⁴⁾、小川良子⁵⁾、宮本哲雄⁶⁾、松枝亜希子⁷⁾

- 1) 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所
- 2) 特定非営利活動法人 りょうちゃんず
- 3) 産業医科大学
- 4) 北九州市立大学
- 5) 医療法人社団 葵会 本永病院
- 6) 国立病院機構 大阪医療センター
- 7) NPO 社会理論・動態研究所

■日時：12月5日（金） 14:30～15:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 9（基礎・B）
宿主因子

座長 岸本直樹

（熊本大学大学院 生命科学研究部 附属グローバル天然物科学研究センター）

助川明香

（東京科学大学 ウイルス制御学分野）

009-1 APOBEC3 欠損 THP-1 細胞で明らかとなる HIV-1 の感染性に必要な Vif 標的の再評価

清水 凌¹⁾、Michael Jonathan^{1,2)}、齊藤 暁³⁾、門出和精⁴⁾、池田輝政¹⁾

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野
- 2) 熊本大学 医学教育部
- 3) 宮崎大学 農学部 獣医学領域
- 4) 熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座

009-2 Deaminase-Independent HIV-1 Restriction by APOBEC3 Proteins in iPS-ML #1 Cells

Sharee Leong^{1,2)}、Hesham Nasser¹⁾、
鈴 伸也³⁾、池田輝政¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野
- 2) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 3) Division of Infection and Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

009-3 TPI1 の核移行は HIV-1 増殖を促す

阿部人和¹⁾、安武多恵¹⁾、東竜太郎¹⁾、
枇杷孝太郎¹⁾、高宗暢暁²⁾、三隅将吾¹⁾、
岸本直樹¹⁾

- 1) 熊本大学大学院 薬学教育部
- 2) 熊本大学研究開発戦略本部

009-4 M-Sec promotes the production of infectious HIV-1 virions

Reem Fahmy¹⁾、Masateru Hiyoshi²⁾、
Shinya Suzu¹⁾

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 2) Research Center for Biological Products in the Next Generation, National Institute of Infectious Diseases.

009-5 HIV-1 の祖先ウイルスであるサル免疫不全ウイルスが動物種を超えて伝播する分子機構

芳田 剛¹⁾、Weitong Yao²⁾、俣野哲朗¹⁾、
山本浩之¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 2) 東京医科歯科大学 (現：東京科学大学)

■日時：12月5日(金) 14:30～15:30

■会場：第6会場(3F 会議室 D1-2)

口演 10 (臨床・C)

U=U と拳児希望・母子感染・歯科 2

座長 今橋真弓

(国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部)

関谷綾子

(がん感染症センター都立駒込病院/東京医科大学 感染症科 臨床検査分野)

010-1 HIV 母子感染予防における児への AZT 投与方法の動向 2025

田中瑞恵¹⁾、外川正生²⁾、兼重昌夫^{1,2)}、
前田尚子²⁾、岡田陽子²⁾、中河秀憲²⁾、
北島浩二²⁾、佐々木泰治²⁾、杉浦 敦²⁾、
喜多恒和²⁾、吉野直人²⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター小児科
- 2) エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班 (母子感染研究班)

010-2 HIV 感染妊娠におけるスクリーニング検査施行時期に関する検討

杉浦 敦^{1,2)}、山中彰一郎²⁾、湊 怜子^{1,2)}、
竹田善則²⁾、市田宏司²⁾、小林裕幸²⁾、
中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、高野政志²⁾、
田中瑞恵²⁾、出口雅士²⁾、喜多恒和²⁾、
吉野直人²⁾

- 1) 武蔵野赤十字病院 産婦人科
- 2) HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究班

010-3 HIV 母子感染予防が達成された 2 症例の検討

後藤亜香利¹⁾、南 元遥¹⁾、渡辺 蘭¹⁾、
白土翔太郎¹⁾、伊吹紗央莉¹⁾、須釜佑介¹⁾、
吉田正宏¹⁾、堀口拓人¹⁾、井山 諭¹⁾、
又村了輔²⁾、國本雄介²⁾、稗田広美³⁾、
川村志野³⁾、平賀多絵子³⁾、宮越郁子³⁾、
小船雅義¹⁾

- 1) 札幌医科大学附属病院 血液内科
- 2) 札幌医科大学附属病院 薬学部
- 3) 札幌医科大学附属病院 看護部

010-4 ART 開始後まもなく拳児希望があった HIV serodiscordant couple の 1 例

岩田啓太郎、佐藤央基、西田裕介、河合夏美、
長谷川哲平、白井絢子、川村繭子、川村隆之、
岡 秀昭、塚田訓久

埼玉医科大学総合医療センター

010-5 両者とも HIV エリートコントローラーと
考えられる夫婦例

南 建輔、石岡春彦、新妻郁未、畠山修司
自治医科大学附属病院 感染症科

■日時：12月5日(金) 15:30～16:20

■会場：第5会場(3F 会議室 C1-2)

口演 11 (基礎・B)
潜伏感染・リザーバー

座長 高橋尚史

(熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

松田幸樹

(鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

011-1 欠損型HIVリザーバー細胞は感染初期に形成
P-B01-3 され長期的に維持される

松田幸樹¹⁾、土屋亮人²⁾、小泉吉輝²⁾、
川島 亮^{2,5)}、中村裕子³⁾、上村修司³⁾、
藤崎知園子⁴⁾、山口宗一⁴⁾、橋口照人⁴⁾、
瀧永博之^{2,5)}、前田賢次¹⁾

- 1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター (ACC)
- 3) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学分野
- 4) 鹿児島大学血管代謝病態解析学分野
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

011-2 Single-Cell Analysis Reveals
Chimeric HIV-MKL1 Transcripts
Associated With Clonal Persistence
in People Living with HIV (PLWH)
under cART

Samiul Alam Rajib¹⁾、
Yukie Kashima²⁾、Yutaka Suzuki²⁾、
Hiroshi Yotsuyanagi^{3,4)}、
Hiroyuki Yamamoto^{1,5)}、
Michiko Koga^{6,7)}、
Ai Kawana-Tachikawa^{1,5,8)}、
Yorifumi Satou¹⁾

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Life Science Data Research Center, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo
- 3) Japan Institution for Health Security
- 4) The Institute of Medical Science, The University of Tokyo
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institution for Health Security
- 6) Department of Infectious Diseases, The University of Tokyo Pandemic Preparedness Infection and Advanced Research Center (UTOPIA), The University of Tokyo
- 7) Department of Infectious Diseases and Applied Immunology, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, the University of Tokyo
- 8) Division of AIDS Vaccine Development, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

011-3 腸内dysbiosisと慢性炎症が及ぼすHIVリ
P-B01-1 ザーバー維持機構の解明

水谷壮利^{1,2)}、石坂 彩³⁾、古賀道子^{4,5)}、
山本浩之²⁾、四柳 宏^{3,5,6)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
- 5) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構

011-4 潜伏 HIV リザーバの再活性化と選択的排除を単剤にて可能にする新規低分子化合物の同定と機能解析

原雄一郎^{1,2)}、北村春樹³⁾、助川明香^{3,4)}、谷本幸介²⁾、武内寛明^{2,4,5)}

- 1) 東京科学大学 歯医学総合研究科 生体集中管理学分野
- 2) 東京科学大学 歯医学総合研究科 ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 3) 東京科学大学 歯医学総合研究科 ウイルス制御学分野
- 4) 東京科学大学 感染症センター (TCIDEA)
- 5) 東京科学大学病院

011-5 HIV-1 潜伏感染細胞排除を志向した新規 LRA 誘導体の創出と作用機序の解明

助川明香^{1,2)}、辻 耕平³⁾、松田幸樹⁴⁾、谷本幸介⁵⁾、玉村啓和³⁾、前田賢次⁴⁾、武内寛明^{2,5,6)}

- 1) 東京科学大学・大学院歯医学総合研究科・ウイルス制御学分野
- 2) 東京科学大学・バイオサイエンスセンター・御茶ノ水リサーチファシリティ
- 3) 東京科学大学・総合研究院 生体材料工学研究所・メディシナルケミストリー分野
- 4) 鹿児島大学・ヒトレトロウイルス学共同研究センター・抗ウイルス療法研究分野
- 5) 東京科学大学・大学院歯医学総合研究科・ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 6) 東京科学大学病院

■日時：12月5日（金） 15:30～16:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 12（臨床・C）
PEP・PrEP・STI・STD 1

座長 谷口俊文

（千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科）

石内崇勝

（一般社団法人天照会 いだてんクリニック）

012-1 SH 外来通院者における PrEP の継続と中断の状況について

高野 操、水島大輔、田中和子、山中宏江、新谷由衣、首藤真由美、金城理奈、青木孝弘、安藤尚克、照屋勝治、潟永博之、岡 慎一

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

012-2 日本の性感染症外来コホートにおける PrEP 利用と HIV 発生率の動向 (2017-2024 年)

新谷由衣¹⁾、水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、首藤真由美¹⁾、金城理奈¹⁾、青木孝弘¹⁾、安藤尚克¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

012-3 PrEP 時代における STI 動向と Doxy PEP の活用可能性:2017-2024 年の SH 外来コホートからの示唆

新谷由衣¹⁾、水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、首藤真由美¹⁾、青木孝弘¹⁾、安藤尚克¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

012-4 Sexual Health 外来におけるドキシサイクリン曝露後予防による性感染症への影響

水島大輔^{1,2)}、新谷由衣¹⁾、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、青木孝弘¹⁾、安藤尚克¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

012-5 HIV 感染および非感染 MSM における淋菌・クラミジア感染の感染部位別の実態について

水島大輔^{1,2)}、新谷由衣¹⁾、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、出口佳美¹⁾、安藤尚克¹⁾、青木孝弘¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日（金） 15:40～16:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 13（社会・S）

検査相談・疫学

座長 本間隆之

貞升健志

（東京都健康安全研究センター 微生物部）

013-1 Microsoft Forms を利用した新宿東口 検査・相談室における HIV アンケート調査

貞升健志¹⁾、本間隆之²⁾、岩橋恒太³⁾、
小泉美優¹⁾、北村有里恵¹⁾、岩崎直哉¹⁾、
浅倉弘幸¹⁾、三宅啓文¹⁾、長島真美¹⁾、
千葉隆司¹⁾、潟永博之⁴⁾、西塚 至⁵⁾、
吉村和久¹⁾、白阪琢磨⁶⁾、四本美保子⁷⁾

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 山梨県立大学
- 3) 特定非営利活動法人 akta
- 4) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) 東京都保健医療局
- 6) エイズ予防財団
- 7) 東京医科大学病院

013-2 結核患者における HIV 感染症の合併に関 する疫学動向及び検査について 2012 ～2023

河津里沙¹⁾、内村和広²⁾、金子典代¹⁾、
今橋真由美³⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科・看護学部
- 2) 公益財団法人結核予防会結核研究所
- 3) 国立病院機構 名古屋医療センター臨床研究センター

013-3 タイにおける HIV 感染者を含む結核患者 の類型化と死亡転帰との関連：欠損値を 考慮したクラスター分析

笠松亜由¹⁾、塘 由惟¹⁾、宮原麗子¹⁾、
山田紀男²⁾、野内英樹²⁾、
Supalert Nedsuwan³⁾、
Surakameth Mahasirimongkol⁴⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 2) 結核予防会
- 3) Chiangrai Prachanukroh Hospital, Ministry of Public Health, Thailand
- 4) Department of Traditional and Alternative Medicine, Ministry of Public Health, Thailand

013-4 演題取り下げ

■日時：12月5日（金） 16:30～17:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 14（社会・S）

ソーシャルワーク

座長 大里文誉

（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療セン
ター）

小嶋道子

（都立駒込病院 患者・地域サポートセンター 患者支援グルー
プ）

014-1 入院を機に生活課題が明らかになり地域 支援体制を再構築した一例

木梨貴博¹⁾、齊藤誠司¹⁾、福井洋介¹⁾、
坂田達朗¹⁾、片山智之¹⁾、山崎由佳¹⁾、
中村 葵¹⁾、山口沙帆¹⁾、五十川容子¹⁾、
野村直幸²⁾、河野泰宏¹⁾、安岡悠典¹⁾、
飯塚暁子¹⁾、藤原千尋¹⁾、今本 粹¹⁾

- 1) NHO 福山医療センター広島県東部地区エイズ医療セ
ンター
- 2) NHO 関門医療センター

014-2 HIV 感染透析患者の施設入所における課 題と支援

高橋昌也、鈴木ひとみ、池田和子、杉野祐子、
谷口 紅、大杉福子、野崎宏枝、佐々木愛美、
大金美和、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

014-3 HIV 感染症新規診断後の離職リスク： JMDC レセプトデータベースを用いた 後ろ向きコホート研究

有里勇輝^{1,2)}、池内和彦¹⁾、齋藤 真³⁾、
松本慎也¹⁾、岸田季之¹⁾、門 輝⁴⁾、
奥新和也⁵⁾、四柳 宏⁶⁾、堤 武也^{1,5)}

- 1) 東京大学医学部附属病院 感染症内科
- 2) がん・感染症センター 都立駒込病院
- 3) Centre for Tropical Medicine and Global Health, Nuffield Department of Medicine, University of Oxford
- 4) 東京大学 保健・健康推進本部
- 5) 東京大学医学部附属病院 感染制御部
- 6) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

014-4 女性および外国籍 HIV 陽性者の支援の困難さと課題克服に向けた、ブロック拠点病院等ソーシャルワーカーの試み

重信英子¹⁾、山口みなみ²⁾、北村未季²⁾、
工藤晃聖³⁾、三鍋佑馬⁴⁾、四戸 良⁴⁾、
佐藤華絵⁵⁾、青野加奈子⁶⁾、中村翔太⁶⁾、
横尾ゆかり⁷⁾、曾我早織⁸⁾、森 晶啓⁹⁾、
中津千恵子¹⁰⁾、浦島藍子¹⁾、大里文誉¹¹⁾、
田村賢二¹¹⁾、三嶋一輝¹²⁾、首藤美奈子¹¹⁾、
岡本 学¹³⁾、高橋昌也¹⁴⁾

- 1) 広島大学病院
- 2) 北海道大学病院
- 3) 札幌医科大学付属病院
- 4) 旭川医科大学病院
- 5) 仙台医療センター
- 6) 石川県立中央病院
- 7) 新潟大学医学部総合病院
- 8) 新潟県立新発田病院
- 9) 県立広島病院
- 10) 広島市立広島市民病院
- 11) 九州医療センター
- 12) 福井大学医学部附属病院
- 13) 大阪医療センター
- 14) 国立健康危機管理研究機構

014-5 愛媛県における医療機関・福祉施設への出張講義の有用性

池田 聖¹⁾、若松 綾²⁾、乗松真大³⁾、
中尾 綾⁴⁾、宮崎雅美²⁾、中川進平³⁾、
末盛浩一郎⁴⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 薬学部
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科

014-6 アンケート調査より垣間見る HIV 陽性者と介護福祉施設の疾患意識のギャップ

藤井輝久¹⁾、中十奈苗²⁾、山崎尚也²⁾、
浦島藍子^{3,7)}、重信英子³⁾、後藤志保^{3,4)}、
坂本涼子^{3,4)}、杉本悠貴恵³⁾、黄 寛美^{3,7)}、
喜花伸子³⁾、片平尚貴⁵⁾、児玉博臣⁵⁾、
金本大地⁵⁾、田坂陵雅⁵⁾、山内映里^{5,6)}

- 1) 広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島県健康福祉局健康危機管理課
- 6) 広島県教育委員会管理部健康福利課
- 7) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

■日時：12月5日(金) 16:30～17:20

■会場：第5会場(3F 会議室 C1-2)

口演 15 (基礎・B) COVID-19 (基礎)

座長 立川 愛

(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 エイズ研究センター)

豊田真子

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

015-1 Characteristics of SARS-CoV-2-specific TCRs associated with asymptomatic and mild COVID-19 cases

金 炎^{1,2)}、Demetra S. M. Chatzileontiadou^{3,4,7)}、
有津由樹^{1,2)}、李カンウ^{1,2)}、北松瑞生⁵⁾、
岸 裕幸⁶⁾、上野 貴将²⁾、
Stephanie Gras^{3,4,7)}、本園 千尋²⁾

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫分野
- 3) ラ・トロブ大学分子科学研究所(LIMS) 免疫感染プログラム
- 4) ラ・トロブ大学 農学・生物医学・環境学部 生化学・化学科
- 5) 近畿大学理工学部応用化学科
- 6) 富山大学学術研究部医学系免疫学講座
- 7) モナシュ大学 生化学・分子生物学科

015-2 優れた抗ウイルス活性を有する HLA-C 拘束性 SARS-CoV-2 N 特異的 CD8 陽性 T 細胞の分子認識基盤

後藤由比古^{1,2,3)}、You Min Ahn⁴⁾、
豊田真子¹⁾、浜名 洋⁵⁾、Yan Jin^{1,3)}、
田嶋祐香^{1,2,3)}、仲摩 健^{1,3)}、Huanyu Li^{1,3)}、
有津由樹^{1,3)}、北松瑞生⁶⁾、岸 裕幸⁵⁾、
富田雄介²⁾、坂上拓郎²⁾、上野貴将¹⁾、
Stephanie Gras⁴⁾、本園千尋¹⁾

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 2) 熊本大学大学院 生命科学研究部呼吸器内科学講座
- 3) 熊本大学 医学教育部
- 4) La Trobe University, Immunity and Infection program, Australia
- 5) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 6) 近畿大学 理工学部 応用化学科

015-3 P-B03-1 SARS-CoV-2 spike L452R変異の側鎖反転による HLA-A*24:02 拘束性 T 細胞認識回避機構の解明

仲摩 健^{1,2)}、Aaron Wall³⁾、浜名 洋⁴⁾、有津由樹^{1,2)}、Toong Tan²⁾、豊田真子²⁾、後藤由比古²⁾、Huanyu Li^{1,2)}、北松瑞生⁵⁾、宇高恵子⁶⁾、Pierre Rizkallah³⁾、岸 裕幸⁴⁾、上野貴将²⁾、Andrew Sewell^{2,3)}、本園千尋²⁾

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 3) カーディフ大学医学部 感染免疫学
- 4) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 5) 近畿大学 理工学部 応用化学科
- 6) 高知大学 免疫学教室

015-4 SARS-CoV-2 長期持続感染 HIV 患者における SARS-CoV-2 のウイルス学的解析

戸山 凪¹⁾、土屋亮人¹⁾、川島 亮^{1,2)}、黒木絢士郎³⁾、長島真美³⁾、中本貴人^{1,2)}、小泉吉輝¹⁾、青木孝弘¹⁾、水島大輔^{1,2)}、貞升健志³⁾、照屋勝治¹⁾、吉村和久³⁾、瀧永博之^{1,2)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京都健康安全研究センター

015-5 P-B02-7 Analysis of retroelement-derived RNA transcription in the lungs of SARS-CoV-2 infected mice

Thorbjoerg Einarisdottir¹⁾、Rise Kurokawa¹⁾、Chatherine Silas Mtali¹⁾、Innocent John Daniel¹⁾、Omnia Reda²⁾、Yorifumi Satou²⁾、Masahiro Ono^{3,4)}、Takushi Nomura^{1,5)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 4) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

■日時：12月5日(金) 16:30～17:20

■会場：第6会場(3F 会議室 D1-2)

口演 16 (臨床・C)

PEP・PrEP・STI・STD 2

座長 仲村秀太

(琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座)

塩尻大輔

(医療法人社団マキマ会 パーソナルヘルスクリニック)

016-1 血清抗体価に基づく MSM における未診断エムボックスの実態と集団免疫獲得の可能性

中本貴人^{1,2)}、水島大輔¹⁾、林田庸総¹⁾、高野 操¹⁾、土屋亮人¹⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学大学院医学教育部博士課程

016-2 関西における PrEP 利用者の 2 年間における実態と予防薬による性行動の変容

石内崇勝^{1,2)}、水島大輔^{2,3)}、傳寶優希¹⁾、三上 蓮¹⁾、吉田菜乃¹⁾、坂元奈桜¹⁾、清水健伍¹⁾、吉田昂汰^{1,2)}

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

016-3 女性を対象とした性病検査イベントにおける検査実施状況と予防薬利用の実態

坂元奈桜¹⁾、石内崇勝^{1,2)}、傳寶優希¹⁾、三上 蓮¹⁾、吉田菜乃¹⁾、清水健伍¹⁾、吉田昂汰^{1,2)}、水島大輔^{2,3)}

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

016-4 HIV 感染高リスク集団における PrEP 普及率拡大と検査体制強化の長期効果：エージェントベースシミュレーション

谷口俊文¹⁾、野田龍也^{2,3)}、今橋真弓⁴⁾、尾又一実^{5,6)}

- 1) 千葉大学医学部附属病院
- 2) 奈良県立医科大学
- 3) 関西医科大学
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター
- 5) 慶應大学
- 6) 国立健康危機管理研究機構

016-5 岩手医科大学附属病院における HIV 針刺し・粘膜曝露への対応に関する後方視的検討

小宅達郎¹⁾、西谷真来¹⁾、多田 恵²⁾、
工藤正樹³⁾、岡野良昭¹⁾、上原さつき¹⁾、
古和田周吾¹⁾、伊藤薫樹¹⁾

- 1) 岩手県医科大学 血液腫瘍内科
2) 岩手医科大学附属病院 看護部
3) 岩手医科大学附属病院 薬剤部

■日時：12月5日（金） 17:30～18:10

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 17（基礎・B）
病原種・病態

座長 齊藤 暁

（宮崎大学 農学部 獣医学領域）

菅田謙治

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

017-1 HIV 感染者における修飾ヌクレオシドプロファイルの解析

豊田真子¹⁾、永芳 友²⁾、山村遼介²⁾、
中條岳志²⁾、藤本奈穂子¹⁾、Kinuma Ndaki¹⁾、
金子 瞳²⁾、西口栞世²⁾、
Godfrey Barabona³⁾、
Doreen Kamori³⁾、富澤一仁²⁾、上野貴将¹⁾

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
2) 熊本大学大学院 生命科学研究部分子生理学講座
3) Department of Microbiology and Immunology, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Dar es Salaam, Tanzania

017-2 HIV-1 gp140 による腸管上皮バリア障害に対する活性型ビタミンDの保護作用：in vitro モデルでの検討

矢崎有希、福本 敦、木村佳貴、吉野友祐

帝京大学医学部微生物学講座

017-3 Divergent Gut Phage Ecology and Immune Signatures in Virologically Suppressed PWH

Lucky Ronald Runtuwene¹⁾、
木口悠也²⁾、石坂 彩³⁾、古賀道子⁴⁾、
山本浩之¹⁾、四柳 宏^{3,5)}、水谷壮利¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) Department of Medicine, Stanford University, CA, USA
3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
5) 国立健康危機管理研究機構

017-4 Entamoeba histolytica の定量 PCR 診断の最適化のための Droplet digital PCR を用いた新規戦略

川島 亮^{1,2,3)}、柳川泰昭^{1,2)}、近田貴敬^{1,3)}、
下河原理江子²⁾、水島大輔^{1,3)}、土屋亮人¹⁾、
八木田健司²⁾、瀧永博之^{1,3)}、渡辺 恒二^{2,4)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ・治療研究開発センター
2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部
3) 熊本大学大学院 医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) 東海大学 生体防御学講座

■日時：12月6日（土） 8:30～9:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 18（臨床・C）
抗 HIV 療法 2

座長 安達英輔

（東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科）

仲村秀太

（琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

018-1 HIV-1 感染症患者における抗 HIV 薬カボテグラビル（ボカブリア錠、ボカブリア水懸筋注）の安全性および有効性解析：日本における製造販売後調査の中間報告

吉川洋一郎¹⁾、長生多佳子²⁾、松川朋子¹⁾、
前野優子¹⁾、瀬端阿希美¹⁾、鈴木美和子¹⁾、
伊部史朗³⁾、福田明子²⁾、王 棟³⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社 安全性管理部
2) ヴィーブヘルスケア株式会社 製造販売総括・安全管理
3) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフケアーズ部門

018-2 京都大学医学部附属病院における持効性注射製剤導入の現状について

尾崎淳子¹⁾、白川康太郎²⁾、松村勝之¹⁾、川戸敦子³⁾、松井宏行²⁾、高折晃史²⁾

- 1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 京都大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 京都大学医学部附属病院 看護部

018-3 日本におけるカボテグラビル+リルピビリンのリアルワールド評価：有効性・安全性およびバイオマーカー動態に関する多施設共同研究

安達英輔^{1,11)}、南 留美^{2,11)}、白野倫徳^{3,11)}、仲村秀太^{4,11)}、福島一彰^{5,11)}、今橋真弓^{6,11)}、関谷綾子^{5,7,11)}、村松 崇^{7,11)}、平井由児^{8,11)}、吉野友祐^{9,11)}、谷口俊文¹⁰⁾、J-HIV RWD Collaborative Database Team¹¹⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター AIDS・HIV 総合治療センター・免疫感染症内科
- 3) 大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター 感染症内科
- 4) 琉球大学 大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 5) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 6) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 7) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
- 8) 東京医科大学八王子医療センター 感染症科・感染制御部
- 9) 帝京大学 医学部微生物学講座
- 10) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科
- 11) J-HIV RWD Collaborative Database Team

018-4 2か月に1回のcabotegravir + rilpivirine 療法中に血漿ウイルス量が>100 copies/mlのBlipsを認めた症例の特徴

笠松 悠^{1,2)}、森田 諒²⁾、麻岡大裕²⁾、飯田 康²⁾、後藤哲志^{1,2)}、白野倫徳²⁾

- 1) 大阪市立十三市民病院 感染症内科
- 2) 大阪市立総合医療センター 感染症内科

018-5 Profile of Inflammatory markers in People living with HIV on combined Antiretroviral therapy in Tanzania

Kinuma Ndaki¹⁾、Godfrey Barabona^{2,3)}、Doreen Kamori^{2,3)}、Lilian Nkinda³⁾、Mussa Bago^{1,2)}、Nahoko Fujimoto²⁾、Mako Toyoda^{2,3)}、Takamasa Ueno^{1,2,3)}

- 1) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 2) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection Kumamoto University
- 3) Department of Microbiology and Immunology, Campus College of Medicine, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

■日時：12月6日（土） 8:30～9:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 19（臨床・C）

高齢化・健康寿命・生活習慣病合併症

座長 川島 亮

（国際健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ・治療研究開発センター）

上村 悠

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

019-1 中高年 People Living with HIV(PLWH) における運動習慣の重要性

南 留美¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、今井絵利華¹⁾、小松真梨子²⁾、犬丸真司²⁾、長与由紀子²⁾、城崎真弓²⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

019-2 当院におけるART内服中PLWH症例の死因についての検討

一木昭人、大崎俊樹、金子 竣、宮下竜伊、近澤悠志、備後真登、村松 崇、四本美保子、天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

019-3 インテグラーゼ阻害剤の世代別にみた 6 年間の併用薬の変化についての検討

中内崇夫¹⁾、矢倉裕輝^{1,2)}、岸田啓太郎¹⁾、
祝洸太郎¹⁾、小西啓司³⁾、廣田和之³⁾、
上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、
河合 実¹⁾、白阪琢磨³⁾、渡邊 大^{2,3)}

1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
2) 同 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
3) 同 感染症内科

019-4 HIV 感染者の人生の最終段階に望む医療
や生活についての認識および話し合いの
程度に関する実態調査

八鍬類子^{1,2)}、堀田宗一郎³⁾、川上明希¹⁾、
田中真琴¹⁾

1) 東京科学大学保健衛生学研究科
2) 東京医療保健大学千葉看護学部
3) 東京医科大学医学部看護学科

019-5 HIV 感染者のワクチン接種状況に関する
多施設アンケート研究 (Preliminary
Report)

金澤晶雄¹⁾、安達英輔²⁾、今橋真弓³⁾、
遠藤知之⁴⁾、南 留美⁵⁾、福岡里紗⁶⁾、
久保田早苗⁷⁾、福島真一¹⁾、鈴木 麻衣¹⁾、
池田麻穂子¹⁾、森 博威¹⁾、横川博英¹⁾、
内藤俊夫¹⁾

1) 順天堂大学医学部 総合診療科学講座
2) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
3) 名古屋医療センター臨床研究センター
4) 北海道大学病院 感染制御部
5) 九州医療センター AIDS/HIV 総合医療センター
6) 大阪市立総合医療センター感染症内科
7) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部

■日時：12 月 6 日（土） 8:30 ～ 9:30

■会場：第 6 会場（3F 会議室 D1-2）

口演 20（基礎・B）
免疫・ワクチン

座長 本園千尋

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

野村拓志

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

020-1 SARS-CoV-2 mRNA ワクチン誘導型抗原
P-B03-4 特異的 T 細胞応答の経時的解析

堀美寿季^{1,2)}、仲摩 健^{1,2)}、Toong Tan²⁾、
富田和奏³⁾、後藤由比古²⁾、田嶋祐香^{1,2)}、
本園千尋²⁾、白川康太郎⁴⁾、高折晃史⁴⁾、
上野貴将²⁾、佐藤 佳⁵⁾

1) 熊本大学医学教育部
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感
染免疫学分野
3) 熊本大学医学部医学科
4) 京都大学大学院医学研究科血液内科学
5) 東京大学医科学研究所システムウイルス学分野

020-2 HIV 感染者における SARS-CoV-2 に対す
P-B03-5 る細胞性免疫応答の解析

立川（川名）愛^{1,2,3)}、細谷（中山）香¹⁾、
Alitzel Anzurez¹⁾、古賀道子^{4,5)}、
四柳 宏^{6,7)}、吉村幸浩⁸⁾、立川夏夫⁹⁾、
山本浩之^{1,2)}

1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ
研究センター
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発
担当
4) 東京大学新世代感染症センター感染症研究分野
5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
6) 国立健康危機管理研究機構
7) 東京大学医科学研究所
8) 横浜市立市民病院感染症内科
9) 名寄東病院

020-3 HIV-1 感染症治療を目的とした新規
RNA ワクチンの開発

野木森拓人¹⁾、Hoang Oanh Nguyen²⁾、
升田雄士¹⁾、長束佑太¹⁾、福島大騎^{1,3)}、
西山紋恵¹⁾、Appay Victor²⁾、山本拓也^{1,3,4)}

1) 医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究
センター プレシジョン免疫プロジェクト
2) CNRS UMR 5164, INSERM ERL 1303,
ImmunoConcEpT, University of Bordeaux,
Bordeaux, France
3) 大阪大学大学院薬学研究科 免疫老化制御学分野
4) 大阪大学大学院医学系研究科 免疫・感染制御学講座

020-4 Extracellular Vesicle-associated miRNAs Reveal Immune Recovery Subgroups in HIV-Treated Individuals

Mussa Hassan Bago^{1,2,3)}、
Godfrey Barabona^{1,4)}、
Doreen Kamori^{1,4)}、Lilian Nkinda^{1,4)}、
Kinuma Ndaki^{1,2)}、Mako Toyoda¹⁾、
Takamasa Ueno^{1,2,4)}

- 1) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Department of Public Health and Community Nursing, The University of Dodoma, Dodoma, Tanzania
- 4) Department of Microbiology and Immunology, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Dar es Salaam, Tanzania

020-5 非天然アミノ酸を導入した人工改変ペプチドによる新規 T 細胞誘導型ワクチンの開発に向けた基礎研究

有津由樹^{1,7)}、黒瀬愛実莉²⁾、浜名 洋³⁾、
仲摩 健^{1,7)}、山田杏子⁷⁾、宜野座路寛⁸⁾、
伊丹すす⁴⁾、Huanyu Li^{1,7)}、宇高恵子⁵⁾、
岸 裕幸³⁾、上野貴将⁷⁾、川下理日人⁶⁾、
北松瑞生²⁾、本園千尋⁷⁾

- 1) 熊本大学大学院医学教育部医学専攻
- 2) 近畿大学理工学部応用化学科
- 3) 富山大学学術研究部医学系免疫学
- 4) 近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻
- 5) 高知大学免疫学教室
- 6) 近畿大学理工学部エネルギー物質学科
- 7) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 8) 熊本大学医学部医学科

020-6 ADAM17 阻害は、B 型肝炎ウイルス特異的 NK 細胞抗体依存的細胞傷害を回復させる

菅原 将¹⁾、Stephanie Jost¹⁾、
R. Keith Reeves^{1,2)}

- 1) デューク大学外科学部
- 2) Center for Virology and Vaccine Research, Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School

■日時：12 月 6 日 (土) 9:20 ~ 10:10

■会場：第 4 会場 (3F 会議室 B1-3)

口演 21 (臨床・C)

抗 HIV 療法 3

座長 椎木創一

(沖縄中部病院 感染症内科)

増田純一

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部)

021-1 HIV 陽性者における糖尿病の 12 年間の動向：リアルワールドコホート解析

関谷綾子^{1,2)}、鶴飼康平¹⁾、相澤陽太¹⁾、
西川ゆかり¹⁾、鄭 瑞雄¹⁾、福島一彰¹⁾、
田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、
今村顕史¹⁾

- 1) がん感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) 東京医科大学臨床検査医学分野

021-2 非拠点病院の総合診療内科における HIV 診療の現状

白井絢子¹⁾、西田裕介¹⁾、岩田啓太郎¹⁾、
河合夏美¹⁾、長谷川哲平¹⁾、佐藤央基¹⁾、
川村繭子²⁾、川村隆之²⁾、岡 秀昭¹⁾、
塚田訓久²⁾

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科
- 2) 埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科

021-3 Pre-ART 時代に治療を開始した PWH は、現在どのような ART を受けているか

奥野修平、菅野芳明、古賀道子、四柳 宏、
安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

021-4 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2025 年)

澤田暁宏¹⁾、関根祐介²⁾、増田純一³⁾、
小島賢一⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学 呼吸器・血液内科
- 2) 東京医科大学病院 薬剤部
- 3) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 4) 荻窪病院 血液凝固科

021-5 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2025 年)

関根祐介¹⁾、澤田暁宏²⁾、増田純一³⁾、小島賢一⁴⁾

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) 兵庫医科大学 呼吸器・血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 4) 荻窪病院 血液凝固科

■日時：12月6日（土） 9:20～10:10

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 22（臨床・C）
症例報告・臨床疫学

座長 中嶋恵理子

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

松本佑慈

（九州大学病院 総合診療科）

022-4 HIV 関連形質芽球性リンパ腫長期寛解中に発症した組織球肉腫

中嶋恵理子¹⁾、今井絵利華¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、桃崎征也³⁾、南 留美¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 3) 国立病院機構九州医療センター病理診断部

022-5 横浜市立市民病院を受診した HIV 陽性者の COVID-19 流行前後での診断状況の検討

宗 佑奈、佐久川佳怜、松原龍輔、伊東裕史、宮田順之、吉村幸浩

横浜市立市民病院 感染症内科

■日時：12月6日（土） 9:30～10:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 23（臨床・C）
抗 HIV 療法 4

座長 山口泰弘

（国立病院機構 九州医療センター 薬剤部）

南 留美

（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

022-1 播種性非結核性抗酸菌症に対して集学的治療を行うことで救命し得た HIV 感染症の一例

安藤彬乃、和田達彦、京田俊介、池田慶介、長谷川靖浩、田中知樹、松枝 佑、山岡邦宏

北里大学医学部リウマチ膠原病内科

022-2 ART 導入後に増悪した HIV cholangiopathy を伴うクリプトスポリジウム症の一例

中川翔太、柳川泰昭、桑田 亮、川島 亮、井上恵理、安藤尚克、上村 悠、中本貴人、水島大輔、青木孝弘、照屋勝治、瀧永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

023-1 テノホビルジソプロキシシルフマル酸塩 (TDF) の累積曝露および中止後の持続的腎機能低下に対する非線形混合効果モデルによる評価

山口泰弘、平田亮介、筒井結子、小泉陽奈子、藤田清香、藤瀬陽子、大橋邦央、橋本雅司

国立病院機構 九州医療センター 薬剤部

022-3 HIV 関連びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対し Pola-R-CHP 療法を施行した一例

生駒良和^{1,2,3)}、石原正志^{3,4)}、手塚宣行⁵⁾、杉山仁美^{3,6)}、山口公大⁷⁾、鶴見 寿^{1,3,8)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター
- 4) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座
- 6) " 岐阜大学医学部附属病院 看護部 "
- 7) 岐阜市民病院 血液内科
- 8) 松波総合病院 血液・腫瘍内科

023-2 非 INSTI レジメンから INSTI レジメンへの変更後の影響：山梨県立中央病院における後ろ向き検討

遠藤愛樹、石部大紀、金 永進、松本香織

山梨県立中央病院薬剤部

023-3 Twelve-month (12M) effectiveness and safety of B/F/TAF in treatment-experienced people with HIV: a pooled analysis from observational cohort studies across Asia

Rumi Minami¹⁾、Lijun Sun²⁾、Yu-Ting Tseng³⁾、Lin Cai⁴⁾、Ping Ma⁵⁾、Katsuji Teruya⁶⁾、Nao Taguchi⁷⁾、Travis Lim⁸⁾、Paul McDwyer⁹⁾、Julie Ryu⁸⁾、Weiping Cai¹⁰⁾

- 1) National Hospital Organization Kyushu Medical Center, Fukuoka, Japan
- 2) Beijing Youan Hospital, Capital Medical University, Beijing, China
- 3) Kaohsiung Veterans General Hospital, Kaohsiung, Taiwan
- 4) Public Health Clinical Center of Chengdu, Chengdu, China
- 5) Tianjin Second People's Hospital, Tianjin, China
- 6) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan
- 7) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan
- 8) Gilead Sciences, Foster City, CA, USA
- 9) Gilead Sciences, Dublin, Ireland
- 10) Guangzhou Medical University, Guangzhou Eighth People's Hospital, Guangzhou, China

023-4 横浜市民病院におけるドラビリン・テノホビルアラフェナミド・エムトリシタビンとドルテグラビル・ラミブジンによる維持療法の比較

吉村幸浩、佐久川佳怜、松原龍輔、伊東裕史、宗 佑奈、宮田順之

横浜国立大学市民病院感染症内科

023-5 HIV 感染症患者における抗 HIV 薬ドルテグラビル製剤 (テビケイ錠、トリメク配合錠) の安全性及び有効性解析: 日本における製造販売後調査 10 年間の最終報告

前野優子¹⁾、長生多佳子²⁾、瀬端阿希美¹⁾、松川朋子¹⁾、吉川洋一郎¹⁾、鈴木美和子¹⁾、伊部史朗³⁾、福田明子²⁾、王 棟³⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社 安全性管理部
- 2) ヴィーブヘルスケア株式会社 製造販売総括・安全管理
- 3) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカルアフェアーズ部門

■日時: 12月6日 (土) 14:40 ~ 15:30

■会場: 第5会場 (3F 会議室 C1-2)

口演 24 (臨床・C)

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス 1

座長 田上直美

(熊本大学病院 薬剤部)

日笠真一

(兵庫医科大学病院 薬剤部)

024-1 HIV 感染症「専門医療機関連携薬局認定取得に向けた現状と課題に関する調査」

増田純一¹⁾、矢倉裕輝²⁾、田澤佑基³⁾、國本雄介⁴⁾、井上正朝⁵⁾、佐藤 萌⁶⁾、三枝祐美⁷⁾、安井淳子⁸⁾、石井 良⁹⁾、松木克仁¹⁰⁾、安田明子¹¹⁾、石井聡一郎¹²⁾、白濱 航¹³⁾、洲山佳寛¹⁴⁾、山口泰弘¹⁵⁾、西村富啓¹⁾

- 1) 国立国際医療センター
- 2) 国立病院機構大阪医療センター
- 3) 北海道大学病院
- 4) 札幌医科大学付属病院
- 5) 旭川医科大学病院
- 6) 国立病院機構仙台医療センター
- 7) 新潟大学医学総合病院
- 8) 新潟市民病院
- 9) 新潟県立新発田病院
- 10) 国立病院機構名古屋医療センター
- 11) 石川県立中央病院
- 12) 広島大学病院
- 13) 県立広島病院
- 14) 広島市立広島市民病院
- 15) 国立病院機構九州医療センター

024-2 保険薬局従業員の HIV 感染症・エイズに関する認識の実態 ～研修動画の効果～

海老昌子¹⁾、白井莉和子¹⁾、野口梨紗¹⁾、澤田智世¹⁾、富澤星華¹⁾、伊藤智代²⁾、阿部真也²⁾、五十嵐建佑²⁾、佐々木愛³⁾、松井 洸³⁾、山口 浩³⁾、野村和彦³⁾

- 1) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 2) 株式会社ツルハ
- 3) 株式会社ツルハホールディングス

024-3 近年頻用されている抗 HIV 薬の簡易懸濁法の適否に関わる検討

久利 歩、矢倉裕輝、渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部

024-4 拳児希望のある HIV 感染症患者に対する 薬剤師の関わり

梅本憂衣、山口泰弘、平田亮介、筒井結子、
藤田清香、小泉陽奈子、藤瀬陽子、大橋邦央、
橋本雅司

国立病院機構 九州医療センター

024-5 HIV 陽性妊婦に関して多職種・他院との 協力体制の構築について検討した1例～妊 娠、出産、児への AZT 投与の薬剤支援～

村多杏美¹⁾、山口英美¹⁾、佐藤 萌¹⁾、
鈴木佳奈子²⁾、佐々木晃子²⁾、三浦麻衣³⁾、
今村淳治³⁾、伊藤俊広³⁾

- 1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構仙台医療センター看護部
- 3) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科

025-4 HIV 陽性者「全国ピアサポート円卓会 議」と各地域コミュニティセンターとの 協働—全国のコミュニティが語る日本の HIV/ エイズ 課題と希望の視点—

大島 岳^{1,2)}、加藤力也¹⁾、福正大輔¹⁾、
牧原信也¹⁾、生島 嗣¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 2) 明治大学 情報コミュニケーション学部

025-5 わが国の HIV 感染抑制と陽性者支援のため のプロジェクト< ZERO transmission in Japan by 2030 >について

白阪琢磨^{1,2)}、池袋 真³⁾、岩橋恒太⁴⁾、
西浦 博⁵⁾、四本美保子⁶⁾、田中英之⁷⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/
AIDS 先端医療開発センター
- 3) 医療法人社団マキマ会 パーソナルヘルスクリニック
横浜院
- 4) 特定非営利活動法人 akta
- 5) 京都大学大学院医学研究科
- 6) 東京医科大学臨床検査医学科
- 7) 公益財団法人エイズ予防財団大阪事務所

■日時：12月6日（土） 14:40～15:30

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 25（社会・S）

啓発・コミュニティ

座長 柏崎正雄

（公益財団法人エイズ予防財団）

船石翔馬

（福岡コミュニティセンター HACO）

025-1 HIV/AIDS 予防啓発手法としてのドキュ メンタリー映画の可能性

福正大輔¹⁾、保坂嘉成^{1,2)}

- 1) 認定特定非営利活動法人ふれいす東京
- 2) 西武文理大学看護学部

025-2 若年層への効果的な啓発方法に関する分析

宇野伽那子、古川香奈江、松田貴根、
大野利佐子、津田侑子、康 史朗、岡田めぐみ、
森 裕、廣川秀徹

大阪市保健所感染症対策課

025-3 包摂と尊厳を掲げて歩く— #UpdateHIV フロートで確認された HIV コミュニティのカー

福正大輔¹⁾、生島 嗣¹⁾、岩橋恒太²⁾、
武永麻衣子³⁾、小林直美³⁾、石川貴枝子³⁾、
笹井明日香⁴⁾、岡本紀子⁴⁾

- 1) 認定特定非営利活動法人ふれいす東京
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) ギリアド・サイエンス株式会社
- 4) ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：12月6日(土) 15:40～16:30

■会場：第5会場(3F 会議室C1-2)

口演 26 (臨床・C)

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス 2

座長 平野 淳

(国立病院機構東名古屋病院 薬剤部)

草場健司

(福岡市薬剤師会薬局 百道店)

026-1 Positive Perspectives 3 研究 (PP3) において患者と医療従事者の共同意思決定は HIV 陽性者の生活の質、治療アドヒアランス、治療満足度の向上に関連

Rickesh Patel¹⁾、
Brent Allan²⁾、Garry Brough³⁾、
Mario Cascio⁴⁾、Erika Castellanos⁵⁾、
Antonella Cingolani⁶⁾、Vuyiseka Dubula⁷⁾、
W. David Hardy⁸⁾、岩橋恒太⁹⁾、
Sindy Mbundwini¹⁰⁾、Marta McBritton¹¹⁾、
Mary Ndung'u¹²⁾、Bruce Richman¹³⁾、
Mercy Shibemba¹⁴⁾、Ama Appiah¹⁾、
Dainielle Fox¹⁾、Mariel Mayer¹⁾、
Shaun Mellors¹⁾、Vilma Vega¹⁾、
Nneka Nwokolo¹⁾、笹井明日香¹⁵⁾

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

026-2

Positive Perspectives 3 研究 (PP3) において、治療満足度は、アドヒアランスおよび精神的・身体的・性的・全体的健康の改善と関連

Rickesh Patel¹⁾、
Brent Allan²⁾、Garry Brough³⁾、
Mario Cascio⁴⁾、Erika Castellanos⁵⁾、
Antonella Cingolani⁶⁾、
Vuyiseka Dubula⁷⁾、W. David Hardy⁸⁾、
岩橋恒太⁹⁾、Sindy Mbundwini¹⁰⁾、
Marta McBritton¹¹⁾、
Mary Ndung'u¹²⁾、Bruce Richman¹³⁾、
Mercy Shibemba¹⁴⁾、Ama Appiah¹⁾、
Dainielle Fox¹⁾、Mariel Mayer¹⁾、
Shaun Mellors¹⁾、Vilma Vega¹⁾、
Nneka Nwokolo¹⁾、笹井明日香¹⁵⁾

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

026-3

薬害 HIV 感染者のポリファーマシーに関する現状調査

福嶋千穂¹⁾、増田純一¹⁾、岩月優菜¹⁾、
沼田理子¹⁾、小林瑞季¹⁾、霧生彩子¹⁾、
関 将行¹⁾、長島浩二¹⁾、上村 悠²⁾、
瀧永博之²⁾、西村富啓¹⁾

- 1) 国立国際医療センター 薬剤部
- 2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

一般演題（口演）

026-4 緩やかな自死として抗 HIV 療法を自己中断し死亡した高齢 HIV 患者の一例。

高嶋英樹¹⁾、今井三枝子²⁾、叶内 至³⁾、阿部公俊⁴⁾、中尾安秀¹⁾

- 1) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科
- 2) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院看護部
- 3) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院薬剤部
- 4) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

026-5 DTG中断後にINSTI-RAM S147G単独出現を認めた一例とその臨床的意義

山川奈津子¹⁾、仲村秀太²⁾、上原 仁³⁾、大田久美子³⁾、宮城京子⁴⁾、前田サオリ⁴⁾、石郷岡美穂⁵⁾、前原一輝⁵⁾、上 薫⁵⁾、照屋美波⁶⁾、新里尚美⁷⁾、金城隆展⁸⁾、大城光花¹⁾、渡嘉敷良乃¹⁾、山内 恵¹⁾、今村美菜子^{1,9)}、菊地 正¹⁰⁾、山本和子²⁾

- 1) 琉球大学病院 検査・輸血部
- 2) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科
- 3) 琉球大学病院薬剤部
- 4) 琉球大学病院看護部
- 5) 琉球大学病院医療福祉センター
- 6) 琉球大学病院精神科神経科
- 7) 琉球大学病院第一内科
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部
- 9) 琉球大学大学院医学研究科 先進ゲノム検査医学講座
- 10) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

■日時：12月6日（土） 17:10～18:00

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 27（臨床・C）

看護・長期療養・チーム医療 1

座長 大金英和

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

前田サオリ

（琉球大学病院 看護部）

027-1 血友病性関節症をめぐる薬害被害者支援の院内連携～コーディネーターナースの視点から～

知久熙真^{1,2)}、関 義信^{3,4)}、新保明日香⁵⁾、田村美喜⁵⁾、平岡 司⁶⁾、栗原豊明⁶⁾、柴田 怜¹⁾、高木 繁⁷⁾、望月友晴⁷⁾、茂呂 寛¹⁾

- 1) 新潟大学医学総合病院 感染管理部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) 新潟大学医学総合病院 血液内科
- 4) 新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科
- 5) 新潟大学医学総合病院 看護部
- 6) 新潟大学医学総合病院 リハビリテーション科
- 7) 新潟大学医学総合病院 整形外科

027-2 HIV 感染血友病患者がアクセスしている健康情報等の内容と手段に関する実態調査（中間報告）

佐々木愛美、大金美和、野崎宏枝、大杉福子、鈴木ひとみ、谷口 紅、大友 健、木村聡太、宮本里香、高橋昌也、杉野祐子、池田和子、上村 悠、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

027-3 薬害 HIV 感染血友病患者の治療薬変更に伴う在宅療養支援

石井智美¹⁾、車 陽子¹⁾、浅田裕子¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院看護部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

027-4 HIV 陽性者の喫煙・禁煙に対する認識の調査

富田亜沙美、中濱智子、東 政美、米田奈津子、白阪琢磨、上平朝子、渡邊 大

大阪医療センター

027-5 カウンセリングを拒否するメンタルヘル스에問題を抱えた患者の抑うつ状態から脱却への関わり

今井三枝子、阿部公俊、高嶋英樹、叶内 至、中尾安秀

新松戸中央総合病院

■日時：12月6日（土） 17:10～18:10

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 28（社会・S）

郵送検査・検査体制

座長 船石翔馬

（福岡コミュニティセンター HACO）

高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

028-1 HIV 郵送検査に関する実態調査（2024）

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子¹⁾、今井光信³⁾、今村顕史⁴⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 株式会社ハナ・メディテック
- 2) 神奈川県衛生研究所 微生物部
- 3) 田園調布学園大学
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

028-2 ゲイバーとハッテン場への HIV 郵送検査 キット設置における有効性と問題点 - 梅毒 同時検査での検討 -

高濱宗一郎¹⁾、今井絵利華¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、
南 留美¹⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、
城崎真弓²⁾

1) 国立病院機構 九州医療センター
2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

028-3 北陸・南九州のハイリスク層を対象とし た郵送検査による HIV 検査モデル構築と 効果分析に関する研究

鄭 瑞雄¹⁾、生島 嗣²⁾、岩橋恒太³⁾、
本間隆之⁴⁾、南 留美⁵⁾、彼谷裕康⁶⁾、
渡邊珠代⁷⁾、森永浩次⁸⁾、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院
2) 特定非営利活動法人ふれいす東京
3) 特定非営利活動法人 akta
4) 山梨県立大学
5) 国立病院機構九州医療センター
6) 富山県立中央病院
7) 石川県立中央病院
8) 福井県立病院

028-4 岡山県における「もんげー性病検査」10 年のあゆみ

和田秀穂¹⁾、福田寛文²⁾

1) 川崎医科大学総合臨床医学
2) 川崎医科大学血液内科学

028-5 在留外国人の郵送 HIV 検査に関する選好 に関する研究

北島 勉¹⁾、Chunyan Li²⁾、
沢田貴志³⁾、宮首弘子⁴⁾、Tran Thi Hue⁵⁾、
Supriya Shakya⁶⁾

1) 杏林大学総合政策学部
2) 東京大学東京カレッジ
3) 港町診療所
4) 杏林大学外国語学部
5) 神戸女子大学文学部
6) エイズ予防財団

028-6 当院で HIV 陽性が判明した 97 例から考 察する検査体制の課題と提言

谷口 恭

(医) 谷口医院

■日時：12月6日（土） 18:10～19:00

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 29（臨床・C）

看護・長期療養・チーム医療 2

座長 杉野祐子

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治
療・研究開発センター)

長與由紀子

(国立病院機構九州医療センター 看護部 AIDS/HIV 総合治
療センター)

029-1 ACC 通院中の HIV 感染症高齢患者の居 住地と医科併存疾患の通院先について

鈴木ひとみ¹⁾、池田和子¹⁾、谷口 紅¹⁾、
杉野祐子¹⁾、大杉福子¹⁾、佐々木愛美¹⁾、
大金美和¹⁾、高橋昌也¹⁾、大友 健¹⁾、
木村聡太¹⁾、宮本里香^{1,2)}、照屋勝治¹⁾、
潟永博之¹⁾

1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団

029-2 高次脳機能障害を伴う HIV 関連進行性多 巣性白質脳症 (PML) を発症し、長期療 養施設へ入所出来た一例

菊地太郎^{1,2)}、増田真吾²⁾、遠藤恵里奈³⁾、
長浦由紀⁴⁾、小笹宗一郎⁴⁾、濱田航一郎⁴⁾、
赤羽目翔悟⁴⁾、杉本尊史²⁾、山内桃子²⁾、
泉田真生²⁾、山梨啓友⁴⁾、中村裕子⁵⁾、
寺坂陽子^{5,6)}、森本浩之輔²⁾、前田隆浩⁴⁾、
有吉紅也⁷⁾、泉川公一⁶⁾、古本朗嗣¹⁾

1) 長崎大学病院 総合感染症科・感染症医療人育成セン
ター
2) 長崎大学病院 総合感染症科・国際感染症予防診療セ
ンター
3) 長崎大学病院 地域医療連携センター
4) 長崎大学病院 総合診療科
5) 長崎大学病院 看護部
6) 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター
7) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症疫学・動態学分野

029-3 難民申請中外国籍 HIV 陽性者に対する多 職種支援・多科診療体制構築の重要性

福島一彰^{1,2)}、小嶋道子³⁾、小林あずさ⁴⁾、
西川ゆかり^{1,5)}、相澤陽太¹⁾、鄭 瑞雄¹⁾、
田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、関谷綾子¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤¹⁾、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科
3) がん・感染症センター都立駒込病院 患者・地域サ
ポートセンター
4) がん・感染症センター都立駒込病院 看護部
5) 東京都保健医療局感染症対策部

029-4 南海トラフ地震に備える：PLWH向け災害対策冊子の作成と配布

加嶋真恵¹⁾、川田通子¹⁾、大田佐代子¹⁾、
吉田陽子¹⁾、木村佐笑¹⁾、住吉健太²⁾、
小田優子³⁾、早川幸子⁴⁾、北岡陸男⁴⁾、
内田俊平⁵⁾、塩入ひろみ¹⁾

- 1) 香川大学医学部附属病院看護部
- 2) 香川大学医学部附属病院薬剤部
- 3) 香川大学医学部附属病院医療支援課
- 4) 香川大学医学部附属病院臨床栄養部
- 5) 香川大学医学部附属病院 HIV・AIDS 対策室

029-5 刑務所から地域へ HIV 関連機関ができること ～お手紙プロジェクトから見えてきたニーズと課題～

福正大輔、村崎美和、生島 嗣、渡辺ひかる
認定特定非営利活動法人ふれいす東京

■日時：12月6日（土） 18:30～19:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 30（社会・S）
薬物使用

座長 宮崎菜穂子

（東京 HIV 診療ネットワーク／川崎市保健所）

大島 岳

（明治大学 情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科）

030-1 薬物依存を有する HIV 陽性者の生きづらさに関する内容分析

保坂嘉成^{1,2)}、福正大輔²⁾、生島 嗣²⁾

- 1) 西武文理大学看護学部
- 2) 認定 NPO 法人 ふれいす東京

030-2 薬物乱用防止教育における中学生の意識と学びの分析—自由記述に基づくテキストマイニング調査—

中野栄二^{1,2,3)}、伊藤美緒子^{1,4)}、鈴木智恵子^{1,5)}

- 1) 特定非営利活動法人 ASK（ASK 認定依存症予防教育アドバイザー）
- 2) 中央大学
- 3) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 4) アルコール関連問題を考える会だるま会
- 5) 北海道公立学校スクールカウンセラー

030-3 タブレットを用いた HIV 陽性者向け心理スクリーニング検査の妥当性検討

仲倉高広¹⁾、井上洋士²⁾、板垣貴志³⁾、
村井俊哉⁴⁾

- 1) 京都ノートルダム女子大学
- 2) 埼玉大学
- 3) 株式会社アクセライト
- 4) 京都大学

030-4 千葉大学における People living with HIV(PLWH) の薬物使用の実態と特徴：メタンフェタミン使用とその関連リスクに関する後ろ向き研究

吉川 寛、谷口俊文、矢幅美鈴、豊田陽子、
猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院

030-5 当院における薬物使用・薬物依存症者への取り組み

中尾 綾、山之内純

愛媛大学医学部附属病院 第一内科

■日時：12月6日（土） 19:10～20:00

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 31（臨床・C）
看護・長期療養・チーム医療 3

座長 高木雅敏

（熊本大学病院 看護部）

田中美佐子

（産業医科大学病院 看護部）

031-1 HIV 感染症担当看護師の活動や役割に関する看護支援体制の実態と看護管理者の認識調査

～HIV 感染症の看護支援体制に関するアンケート調査より～

大金美和¹⁾、杉野祐子¹⁾、照屋勝治¹⁾、
上村 悠¹⁾、後藤智己²⁾、柿沼章子²⁾、
岩野友里²⁾、花井十伍³⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

031-2 外来での療養支援の実態把握と HIV 患者が看護師に求める役割に関する検討～HIV 感染症の看護支援体制に関するアンケート調査より～

杉野祐子¹⁾、大金美和¹⁾、照屋勝治¹⁾、
上村 悠¹⁾、後藤智己²⁾、柿沼章子²⁾、
岩野友里²⁾、花井十伍³⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

031-3 当院における HIV 診療チームの立ち上げと多職種連携による包括的運用：実践報告と今後の展望

梅村明日香¹⁾、天本 大暁¹⁾、綾部美幸²⁾、
後藤綾乃²⁾、柴田 茜³⁾、江頭さおり⁴⁾、
田中康大¹⁾、芦澤博貴¹⁾、岩本さゆみ⁵⁾、
田中健之⁶⁾、尾長谷靖¹⁾、泉川公一⁶⁾、
迎 寛^{7,8)}

- 1) 佐世保市総合医療センター 呼吸器内科
- 2) 佐世保市総合医療センター 地域連携センター
- 3) 佐世保市総合医療センター 総務
- 4) 佐世保市総合医療センター 薬剤部
- 5) 佐世保市総合医療センター 看護部
- 6) 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター
- 7) 長崎大学病院 第二内科（呼吸器内科）
- 8) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 呼吸器内科学

031-4 東北のエイズ診療拠点病院がない地域を対象とした医療、福祉従事者の HIV に対するイメージ、受け入れに関する意識調査—管理者、現場職員間での意識の違いに着目して—

佐藤華絵^{1,2,4)}、鈴木智子¹⁾、松本理沙³⁾、
小倉美緒²⁾、今村淳治¹⁾

- 1) 仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター
- 2) 仙台医療センター地域医療連携室
- 3) 仙台医療センター医師事務補助
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

031-5 当院の「HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業・実地研修」への取り組み

坂部茂俊¹⁾、小池隆介²⁾、田中宏幸²⁾、
豊嶋弘一²⁾、内田真季³⁾、村田 舞³⁾、
森尾志保³⁾、中野絵梨⁴⁾、藤井典義⁴⁾、
服部公紀⁵⁾

- 1) 伊勢赤十字病院 循環器内科
- 2) 伊勢赤十字病院 感染症内科
- 3) 伊勢赤十字病院 看護部
- 4) 伊勢赤十字病院 医療社会事業課
- 5) 伊勢赤十字病院 薬剤部

■日時：12月7日（日） 9:00～9:50

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 32（基礎・B） 抗 HIV 薬

座長 三隅将吾

（熊本大学 大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター）

青木 学

（熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科）

032-1 Tellimagrandin 1 はアボトーススを誘導することで HIV-1 複製を抑制する

門出和精¹⁾、Perpetual Nyame¹⁾、
Wright Andrews Ofotsu Amesimeku¹⁾、
刈谷龍昇²⁾、Berkay Beyri³⁾、
Md. Jakir Hossain¹⁾、寺沢広美¹⁾、
門出奈美¹⁾、立石 大³⁾、澤 智裕¹⁾、
藤田美歌子³⁾、池田 剛⁴⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 2) 神戸学院大学薬学部
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座
- 4) 崇城大学 薬学部

032-2 抗 HIV-1 剤としての抗体薬物複合体

三浦裕太郎¹⁾、辻 耕平¹⁾、小早川拓也¹⁾、
桑田岳夫²⁾、松本佳穂²⁾、伊東祐二³⁾、
吉矢 拓⁴⁾、松下修三²⁾、玉村啓和¹⁾

- 1) 東京科学大学総合研究院生体材料工学研究所
- 2) 熊本大学レトロウイルス学研究センター
- 3) 鹿児島大学大学院理工学研究科
- 4) 株式会社ペプチド研究所

032-3 創薬を指向した HIV-1 Gag MA ドメインとカルジオリピンとの結合に関する研究

富田 聖¹⁾、福田智輝¹⁾、立石 大²⁾、
知念拓磨²⁾、青木 学¹⁾、島垣和功²⁾、
福田亮太²⁾、坂本亜里紗^{1,2)}、大塚雅巳^{2,3)}、
藤田美歌子²⁾、安楽健作¹⁾

- 1) 熊本保健科学大学大学院保健科学研究科
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 3) サイエンスファーム株式会社

032-4 HIV-1 の dolutegravir 耐性発現メカニズムの解明

青木 学^{1,2,3)}、Debananda Das²⁾、
満屋裕明^{2,3,4)}

- 1) 熊本保健科学大学
- 2) NCI/NIH
- 3) 国立国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症研究部
- 4) 熊大病院

032-5 A dual-function AAV system with HiBiT and StayGold for quantification and imaging toward future HIV/AIDS gene therapy

Alhaji M. Jalloh^{1,2)}、孔 徳川^{1,2)}、
多田卓哉³⁾、Nathaniel R. Landau³⁾、
上野貴将²⁾、徳永研三^{1,2)}

1) 国立感染症研究所 感染病理部
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3) Department of Microbiology, NYU
Grossman School of Medicine, New York

■日時：12月7日(日) 10:00～10:50

■会場：第5会場(3F 会議室C1-2)

口演33(基礎・B)
分子疫学

座長 岩谷靖雅

(浜松医科大学 医学部 微生物学・免疫学講座)

椎野禎一郎

(国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター データサイエンス部)

033-1 Nanopore Sequencing を用いた HIV-1 ゲノム翻訳領域での Intactness 評価

大出裕高¹⁾、松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、
山村喜美¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

033-2 国内 HIV-1 伝播クラスター動向 (SPHNCS 分析) 年報 - 2024 年

椎野禎一郎^{1,7)}、今橋真弓²⁾、南 留美³⁾、
中村麻子⁴⁾、林田庸総⁵⁾、吉村和久⁶⁾、
杉浦 互¹⁾、菊地 正⁷⁾

1) 国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター
2) 国立病院機構名古屋医療センター
3) 国立病院機構九州医療センター
4) 福岡県保健環境研究所 保健科学部ウイルス課
5) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
6) 東京都健康安全研究センター
7) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター

033-3 東海地方において検出された組換え型 HIV-1 遺伝系統の分子疫学的解析

松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
2) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

033-4 HIV 感染者におけるエピジェネティック 年齢評価：日本人集団向け計算モデルの開発と国内応用への展望

塘 由惟^{1,2)}、笠松亜由¹⁾、鄭 瑞雄³⁾、
立川 愛¹⁾、仲木 竜⁴⁾

1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
2) 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学
3) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
4) 株式会社 Rhelixa

033-5 コレセプター利用性の異なる HIV-1 による 混合感染の次世代シーケンスを用いた 解析

前田洋助^{1,2)}、近田貴敬³⁾、阿部 遥⁵⁾、
寺沢広美²⁾、Giang Van Tran^{3,4)}、
澤 智裕²⁾、長谷部太⁵⁾、滝口雅文³⁾

1) 吉備国際大学
2) 熊本大学生命科学研究部微生物学講座
3) ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
5) 長崎大学熱帯医学研究所

■日時：12月7日(日) 10:20～11:10

■会場：第4会場(3F 会議室B1-3)

口演34(臨床・C)
日和見感染・悪性腫瘍・肺炎 2

座長 村田昌之

(九州大学病院 総合診療科)

古賀道子

(東京大学 新世代感染症センター 医科学研究所附属病院)

034-1 HIV 陽性者における倍量 B 型肝炎ワクチン再接種とその効果

村松 崇、金子 竣、原田侑子、宮下竜伊、
上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、
関谷綾子、四本美保子、萩原 剛、天野景裕、
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

034-2 HIV 陽性者における C 型肝炎の新規感染

石川和宏^{1,2)}、村松 崇³⁾、金子 竣³⁾、
原田 侑子³⁾、宮下竜伊³⁾、一木 昭人³⁾、
近澤 悠志³⁾、備後 真登³⁾、関谷 綾子³⁾、
四本美保子³⁾、萩原 剛³⁾、天野 景裕³⁾、
木内 英³⁾

- 1) 江戸川病院
- 2) 東京医科大学茨城医療センター感染症科
- 3) 東京医科大学臨床検査医学科

034-3 血友病合併 HIV/HCV 重複感染に起因する肝硬変患者に対するホスセンビントの安全性、有効性を検証する医師主導治験（第 II 相試験）

木村公則¹⁾、生駒明美¹⁾、岡本典代¹⁾、
遠藤知之²⁾、阪森亮太郎³⁾、四柳 宏⁴⁾、
潟永博之⁵⁾

- 1) 東京都立駒込病院肝臓内科
- 2) 北海道大学病院・感染制御部
- 3) 国立大阪医療センター消化器内科
- 4) 東京大学医科学研究所附属病院先端医療研究センター
- 5) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

034-4 当院で抗ウイルス療法開始前に好中球減少症を発症していた HIV 感染症 / AIDS 症例に対する G-CSF 製剤の使用実績

金井 修

国立病院機構京都医療センター

034-5 HIV 陽性者における当院での大腸外科・整形外科手術症例の SSI(手術部位感染)の検討

相澤陽太、関谷綾子、鄭 瑞雄、田中 勝、
福島一彰、小林泰一郎、矢嶋敬史郎、味澤 篤、
今村顕史

がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科

■日時：12月7日（日） 11:00～11:50

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 35（基礎・B） 動物モデル

座長 石井 洋

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 潜在感染研究部）

浦野恵美子

（医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター）

035-1 SIV 中和抵抗性の克服に関連した第二の Nef 多型の特定

星野南月^{1,2)}、Anh Hong Quynh Pham^{1,3)}、
小島潮子¹⁾、西澤雅子¹⁾、芳田 剛¹⁾、
Trang Thi Thu Hau¹⁾、林 隆也¹⁾、
関紗由里¹⁾、山本浩之^{1,3,4,5)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 横浜市立大学大学院 医学研究科
- 3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 4) Department of Biomedicine, University Hospital Basel
- 5) 東京科学大学 NIID 統合微生物学

035-2 抗 HIV 中和抗体を用いた免疫療法は、CD8 + T 細胞を主体とした免疫応答でエイズウイルスを制御する

岡村 智崇^{1,2)}、桑田岳夫³⁾、八坂奈津美⁴⁾、
中嶋拓史⁴⁾、花木賢一¹⁾、松下修三³⁾、
保富康宏²⁾

- 1) 国立感染症研究所安全管理研究センター
- 2) 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター
- 3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 4) 株式会社 CURED

035-3 Establishment of conditional antigen expressing mouse models for analysis of immune responses against reactivated HIV reservoir

Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、
Innocent John Daniel¹⁾、
Yashushi Yabuki^{2,3)}、
Takushi Nomura⁴⁾

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) Department of Genomic Neurology, Institute of Molecular Embryology and Genetics (IMEG), Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 4) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

035-4 Analysis of antigen-specific T cell response in sub-acute phase using SARS-CoV-2 infected mouse model

黒川理世¹⁾、Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Innocent John Daniel¹⁾、
Thorbjorg Einarsdottir¹⁾、
Cassian Germanus Mwinuka¹⁾、
坂本 歩¹⁾、Fazilova Fidan¹⁾、佐藤賢文²⁾、
小野昌弘^{3,4)}、野村拓志^{1,5)}

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 3) インペリアル・カレッジ・ロンドン理学部生物学科
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター先進感染症研究教育ユニット
- 5) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター

035-5 Evaluation of immune cell migration dynamics associated with disease severity in SARS-CoV-2 infected mice

Innocent John Daniel¹⁾、
Thorbjorg Einarsdottir¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、
Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Cassian Mwinuka Germanus¹⁾、
Takushi Nomura^{1,2)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security

■日時：12月7日(日) 11:20～12:00

■会場：第4会場(3F 会議室B1-3)

口演 36 (臨床・C)

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎 3

座長 青木孝弘

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

中本貴人

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

036-1 薬害 HIV 感染被害者に対するがん検診受検希望についてのアンケート調査

福田あかり¹⁾、古賀道子^{1,2)}、田中貴大¹⁾、
保坂 隆^{1,3)}、石坂 彩¹⁾、野島正寛¹⁾、
柿沼章子⁴⁾、後藤智巳⁴⁾、藤谷順子⁵⁾、
伊藤俊広⁶⁾、今橋真弓⁷⁾、江口 晋⁸⁾、
遠藤知之⁹⁾、木内 英¹⁰⁾、阪森亮太郎¹¹⁾、
高橋俊二¹²⁾、照屋勝治⁵⁾、丹生健一¹³⁾、
橋本則久¹⁴⁾、花井十伍¹⁴⁾、藤井輝久¹⁵⁾、
南 留美¹⁶⁾、茂呂 寛¹⁷⁾、横幕能行⁷⁾、
渡邊 大¹¹⁾、渡邊珠代¹⁸⁾、四柳 宏^{1,5)}

- 1) 東京大学医科学研究所
- 2) 東京大学新世代感染症センター
- 3) 保坂サイコロコロジー・クリニック
- 4) はばたき福祉事業団
- 5) 国立健康危機管理研究機構
- 6) 仙台医療センター
- 7) 名古屋医療センター
- 8) 長崎大学病院
- 9) 北海道大学病院
- 10) 東京医科大学病院
- 11) 大阪医療センター
- 12) がん研究会有明病院
- 13) 神戸大学医学部附属病院
- 14) ネットワーク医療と人権
- 15) 広島大学病院
- 16) 九州医療センター
- 17) 新潟大学医学部総合病院
- 18) 石川県立中央病院

036-2 HIV 感染者における悪性腫瘍の発生率と予後

松川敏大^{1,2)}、遠藤知之^{1,2,3)}、長谷川祐太^{1,2)}、
高橋知希^{1,4)}、森本朝子^{1,4)}、長井 惇^{1,4)}、
後藤秀樹^{1,2)}、豊嶋崇徳^{1,2)}

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院感染制御部
- 4) エイズ予防財団

036-3 当院のHIV陽性者における前立腺癌の特徴

吉田恭子¹⁾、関谷綾子¹⁾、三浦基嗣¹⁾、
山本浩貴¹⁾、相澤陽太¹⁾、鶴飼康平^{1,2)}、
多田周平^{1,2)}、鄭 瑞雄¹⁾、西川ゆかり^{1,2)}、
田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、福島一彰¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤¹⁾、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

2) 東京都保健医療局 感染症対策部 調査・分析課

036-4 当科で経験した肛門管癌 7 症例の検討

金子 竣、村松 崇、大崎俊樹、原田侑子、
宮下竜伊、一木昭人、近澤悠志、備後真登、
四本美保子、天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

■日時：12月5日(金) 17:20～18:20

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-B01 (基礎・B) HIV-1 潜伏感染・リザーバー

座長 松岡和弘

(国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部)

P-B01-1 腸内 dysbiosis と慢性炎症が及ぼす O11-3 HIV リザーバー維持機構の解明

水谷壮利^{1,2)}、石坂 彩³⁾、古賀道子^{4,5)}、
山本浩之²⁾、四柳 宏^{3,5,6)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
- 5) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構

P-B01-2 腸内細菌由来の細胞外小胞が HIV リザー WS04-4 バーの維持に果たす役割

石坂 彩¹⁾、水谷壮利^{2,3)}、古賀道子^{4,5)}、
山本浩之³⁾、四柳 宏^{1,4,6)}

- 1) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 4) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 5) 東京大学 国際高等研究所 新世代感染症センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構

P-B01-3 欠損型 HIV リザーバー細胞は感染初期に O11-1 形成され長期的に維持される

松田幸樹¹⁾、土屋亮人²⁾、小泉吉輝²⁾、
川島 亮^{2,5)}、中村裕子³⁾、上村修司³⁾、
藤崎知園子⁴⁾、山口宗一⁴⁾、橋口照人⁴⁾、
瀧永博之^{2,5)}、前田賢次¹⁾

- 1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター (ACC)
- 3) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学分野
- 4) 鹿児島大学血管代謝病態解析学分野
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

P-B01-4 Utilizing recombinant SIV infected macaque model to understand HIV-1 reservoir establishment and persistence

Sharmin Nahar Sithi¹⁾、
Samiul Alam Rajib¹⁾、
Kazuaki Monde²⁾、Takuto Nogimori³⁾、
Wajihah Sakhor¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、
Takuya Yamamoto³⁾、Yorifumi Satou¹⁾

- 1) Division of Genomics & Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 3) Center for Vaccine & Adjuvant Research, National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

P-B01-5 A Novel Human Microglial Clone- WS04-3 Based Model to characterize HIV-1 Latency in CNS

Randa A Abdelnaser、
Youssef M. Eltalkhawey、Shinya Suzu

Division of Infection and Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan.

■日時：12月5日(金) 17:20～18:20

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-B02 (基礎・B) ウイルス感染

座長 芳田 剛

(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター)

P-B02-1 HIV-1 複製におけるエンベロープタンパク細胞内領域の機能解析

宮内浩典^{1,2)}

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター

P-B02-2 033-5 コレセプター利用性の異なる HIV-1 による混合感染の次世代シーケンスを用いた解析

前田洋助^{1,2)}、近田貴敬³⁾、阿部 遥⁵⁾、
寺沢広美²⁾、Giang Van Tran^{3,4)}、
澤 智裕²⁾、長谷部太⁵⁾、滝口雅文³⁾

- 1) 吉備国際大学
- 2) 熊本大学生命科学研究部微生物学講座
- 3) ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 4) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
- 5) 長崎大学熱帯医学研究所

P-B02-3 WS04-2 Genome-wide CRISPR Screening to Identify Genes Regulating the Stability of the HIV-1 Tat Protein

Caroline Jelagat¹⁾、
Ryosuke Nomura¹⁾、
Hiroyuki Matsui¹⁾、
Tadahiko Matsumoto¹⁾、
Yusuke Tashiro¹⁾、
Yoshinobu Konishi¹⁾、
Yusuke Okamoto¹⁾、
Tomoshige Shimizu¹⁾、
Kotaro Suzuki¹⁾、Kazunari Aoki²⁾、
Kosuke Yusa²⁾、
Takaori-Kondo Akifumi¹⁾、
Kotaro Shirakawa¹⁾

- 1) Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Kyoto University
- 2) Laboratory of Stem Cell Genetics, Institute of Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

P-B02-4 Establishment of HIV-1 structural protein expression model

Cassian Mwinuka¹⁾、
Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、
Innocent John Daniel¹⁾、
Thorbjorg Einarsdottir¹⁾、
Takushi Nomura^{1,2)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

P-B02-5 The establishment of a transgenic mouse system to analyze HTLV-1-driven CD4+ T cell immortalization mechanism

M Ishrat Jahan¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、
Koki Nimura¹⁾、Takushi Nomura¹⁾、
Nobuko Irie²⁾、Kimi Araki¹⁾、
Masahiro Ono³⁾、Yorifumi Satou^{1,2)}

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infections, Kumamoto University
- 2) International Research Center for Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University, Kumamoto, Japan.
- 3) Department of Life Sciences, Imperial College London.

P-B02-6 Circulating Bovine Leukemia Virus Cell-Free DNA as a Promising Biomarker for Enzootic Bovine Leukosis

Arif Nur Muhammad Ansori^{1,2)}、
M. Ishrat Jahan¹⁾、Toshiaki Inenaga³⁾、
Sakurako Makimoto⁴⁾、
Md. Belal Hossain^{1,5)}、
Yuka Matsuoka¹⁾、
Sharmin Nahar Sithi¹⁾、
Samiul Alam Rajib¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、
Kazuhiko Imakawa⁶⁾、
Tomoko Kobayashi⁴⁾、
Yorifumi Satou¹⁾

- 1) Division of Genomics and Transcriptomics (Satou Lab), The Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Postgraduate School, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia
- 3) Laboratory of Animal Management Science, Department of Animal Science, School of Agriculture, Tokai University, Kumamoto, Japan
- 4) Laboratory of Animal Health, Department of Animal Science, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture, Atsugi, Kanagawa, Japan
- 5) Department of Food Microbiology, Faculty of Nutrition and Food Science, Patuakhali Science and Technology University, Dumki, Patuakhali, Bangladesh
- 6) Laboratory of Molecular Reproduction, Research Institute of Agriculture, Tokai University, Kumamoto, Japan

P-B02-7
015-5 Analysis of retroelement-
derived RNA transcription in the
lungs of SARS-CoV-2 infected
mice

Thorbjoerg Einarsdottir¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、
Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Innocent John Daniel¹⁾、
Omnia Reda²⁾、Yorifumi Satou²⁾、
Masahiro Ono^{3,4)}、Takushi Nomura^{1,5)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 4) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

P-B02-8
WS04-1 HIV-1 Vif による APOBEC3H 二量体
の部位特異的グビキチン化機構の構造学
的基盤

松岡和弘¹⁾、Katarzyna Skorupka²⁾、
Vanivilasini Balachandran²⁾、
松尾 浩²⁾、岩谷靖雅^{1,3)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research, NCI, NIH
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 基礎医学領域

■日時：12月6日(土) 19:20～20:00

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-B03 (基礎・B)
免疫

座長 近田貴敬

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治
療・研究開発センター)

P-B03-1
015-3 SARS-CoV-2 spike L452R 変異の
側鎖反転による HLA-A*24:02 拘束性
T 細胞認識回避機構の解明

仲摩 健^{1,2)}、Aaron Wall³⁾、浜名 洋⁴⁾、
有津由樹^{1,2)}、Toong Tan²⁾、豊田真子²⁾、
後藤由比古²⁾、Huanyu Li^{1,2)}、北松瑞生⁵⁾、
宇高恵子⁶⁾、Pierre Rizkallah³⁾、
岸 裕幸⁴⁾、上野貴将²⁾、
Andrew Sewell^{2,3)}、本園千尋²⁾

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 3) カーディフ大学医学部 感染免疫学
- 4) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 5) 近畿大学 理工学部 応用化学科
- 6) 高知大学 免疫学教室

P-B03-2 Characterization of CD8⁺ T cells
reactive to SARS-CoV-2 L452R
variant in convalescents
harboring HLA-A*24:02

李カンウ¹⁾、仲摩 健¹⁾、有津由樹¹⁾、
金 炎¹⁾、後藤由比古¹⁾、上野貴将²⁾、
本園千尋²⁾

- 1) 国立大学法人 熊本大学 医学教育部
- 2) 国立大学法人 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

P-B03-3 ワクチン接種ならびに感染によって誘導
される新型コロナウイルス spike 抗原に
対する HLA-A*24:02 拘束性 T 細胞応
答の解析

富田和奏^{1,3)}、仲摩 健^{2,3)}、堀美寿季^{2,3)}、
Toong Tan³⁾、上野貴将³⁾、本園千尋³⁾

- 1) 熊本大学医学部医学科
- 2) 熊本大学医学教育部
- 3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野

**P-B03-4 020-1 SARS-CoV-2 mRNA ワクチン誘導型
抗原特異的 T 細胞応答の経時的解析**

堀美寿季^{1,2)}、仲摩 健^{1,2)}、Toong Tan²⁾、
富田和奏³⁾、後藤由比古²⁾、田嶋祐香^{1,2)}、
本園千尋²⁾、白川康太郎⁴⁾、高折晃史⁴⁾、
上野貴将²⁾、佐藤 佳⁵⁾

- 1) 熊本大学医学教育部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 3) 熊本大学医学部医学科
- 4) 京都大学大学院医学研究科血液内科学
- 5) 東京大学医科学研究所システムウイルス学分野

P-B03-5 020-2 HIV 感染者における SARS-CoV-2 に対する細胞性免疫応答の解析

立川 (川名) 愛^{1,2,3)}、細谷 (中山) 香¹⁾、
Alitzel Anzurez¹⁾、古賀道子^{4,5)}、
四柳 宏^{6,7)}、吉村幸浩⁸⁾、立川夏夫⁹⁾、
山本浩之^{1,2)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当
- 4) 東京大学新世代感染症センター感染症研究分野
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 東京大学医科学研究所
- 8) 横浜市立市民病院感染症内科
- 9) 名寄東病院

**P-B03-6 WS04-5 Integrated single cell analysis of
HTLV-1 specific CD8 T cells in
peripheral blood and
cerebrospinal fluid from HAM/
TSP patients**

Md Saiful Islam¹⁾、Kenji Sugata¹⁾、
Benjy Jek Yang Tan¹⁾、
Mitsuyoshi Takatori¹⁾、
Md Samiul Alam Rajib¹⁾、
Omnia Reda¹⁾、Masahito Tokunaga²⁾、
Toshiya Nomura³⁾、Teruaki Masuda³⁾、
Makoto Nakashima^{4,5)}、
Tomoo Sato^{4,5)}、Mitsuharu Ueda³⁾、
Atae Utsunomiya²⁾、
Yoshihisa Yamano^{4,5)}、
Yorifumi Satou¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス感染症共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス部門
- 2) Department of Hematology, Imamura General Hospital
- 3) Department of Neurology, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 4) Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine
- 5) Department of Neurology, St. Marianna University School of Medicine

**P-B03-7 THE CHARACTERIZATION OF
ANTIBODY BINDING FROM
COVID-19 VACCINATED
GROUPS**

Ploy Nantapisit^{1,2)}、
Supranee Phanthanawiboon²⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター分子ウイルス・遺伝学分野
- 2) Department of Microbiology, Faculty of Medicine, Khon Kaen University, Thailand.

**P-B03-8 SARS-CoV-2 に対する広域中和抗体の
解析**

桑田岳夫¹⁾、郭 悠²⁾、清水美紀子¹⁾、
丸山佳美¹⁾、
Ahmed Khairy Hamdy Edris¹⁾、
松下修三¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター感染症内科

**P-B03-9 グラフニューラルネットワークを用いた
抗 HIV-1 抗体の評価**

郭 悠、伊東直哉

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

■日時：12月6日(土) 19:20～20:00

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-B04 (基礎・B) 抗ウイルス薬・ウイルス進化・治療

座長 大出 裕高

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 感染・免疫研究部)

P-B04-1 006-3 LENACAPAVIR INHIBITS VIRAL FORMATION AT THE LATE STAGE OF THE HIV-1 LIFE CYCLE

Wright Andrews Ofotsu Amesimeku¹⁾、
Yoshihiro Nakata²⁾、Hirotaka Ode²⁾、
Nami Monde¹⁾、Hiromi Terasawa¹⁾、
Perpetual Nyame¹⁾、Md. Jakir Hossain¹⁾、
Terumasa Ikeda³⁾、Akatsuki Saito⁴⁾、
Tomohiro Sawa¹⁾、Yosuke Maeda¹⁾、
Yasumasa Iwatani²⁾、Kazuaki Monde¹⁾

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) National Hospital Organization Nagoya Medical Center. Clinical Research Center, Department of Infectious Diseases and Immunology.
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 4) Department of Veterinary Medicine, University of Miyazaki.

P-B04-2 HIV-1 Capsid polymorphic signatures in non-B subtype and their impact on Lenacapavir susceptibility

Twilumba Makene^{1,2)}、Mako Toyoda¹⁾、
Hussein Mti¹⁾、Godfrey Barabona^{1,2)}、
Manabu Aoki³⁾、Doreen Kamori^{1,2)}、
Bruno Sunguya^{1,2)}、
Takamasa Ueno^{1,2)}

- 1) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Muhimbili University of Health and Allied Sciences - MUHAS, Tanzania
- 3) Department of Medical Technology, Kumamoto Health Science University, Kumamoto, Japan

P-B04-3 共有結合性 hydroquinone 及び hydrazide 構造を有する抗 HIV-1 capsid 阻害剤の強化

中村朋文^{1,2)}、高宗暢暁³⁾、奥村真由⁴⁾、
安永純一郎²⁾、杉浦正晴⁵⁾、天野将之^{2,6)}

- 1) 熊本大学病院 中央検査部
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学
- 3) 熊本大学・研究開発戦略本部
- 4) 熊本大学病院・薬剤部
- 5) 崇城大学・薬学部・薬学科
- 6) 熊本第一病院

P-B04-4 HIV-1 カプシド領域における non-viable 変異および補償変異に関する研究

中田佳宏¹⁾、大出裕高¹⁾、
Wright Andrews ofotsu Amesimeku²⁾、
門出和精²⁾、小島加奈子¹⁾、今橋真弓¹⁾、
横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,3)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部 微生物学講座
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

P-B04-5 卓越した耐性プロファイルを有する新規第三世代インテグラーゼ阻害剤 S-365598 (VH4524184, VH184) の in vitro 特性解析

関 貴弘、有田修平、石田佳代、三木 茂、
鍵谷明美、三木志のぶ、北村紳悟、宮本 直、
埜田善之、富田 裕、穴戸貴雄、小山美紀子、
吉永智一

塩野義製薬株式会社 創薬疾患研究所

P-B04-6 東海地方における HIV-1 新規診断症例の薬剤耐性関連変異に関する経年的解析

重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、松田昌和¹⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科

P-B04-7 COVID-19 重症化の鍵を握る SARS-CoV-2 ゲノム変異の同定～重症化または非重症化に関連する変異群の網羅的探索～

谷本幸介¹⁾、石渡早織²⁾、田中ゆきえ²⁾、
助川明香³⁾、具 芳明⁴⁾、武内寛明¹⁾

- 1) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 2) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 微生物・感染免疫解析学分野
- 3) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野
- 4) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野

P-B04-8 Therapeutic Potential of Vitamin D3 [Rocaltrol] against Primary Effusion Lymphoma.

Prin Sungwan¹⁾、Maako Ifuku¹⁾、
Seiji Okada^{1,2)}

- 1) Div. of Hematopoiesis, Joint Res. Ctr. for Human Retrovirus Infection & Grad. Sch. of Med. Sci., Kumamoto Univ., Kumamoto, Japan
- 2) Inst. of Industrial Nanomaterials, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

■日時：12月5日 (金) 13:30～14:30
■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C01 (臨床・C) 臨床検査

P-C01-1 IgM 型 HAMA 様抗体により複数の HIV スクリーニング試薬で偽陽性を呈した 1 例

谷口裕美¹⁾、岡本 愛¹⁾、村上晶子¹⁾、
高須賀康宣¹⁾、山田啓之²⁾、木原久文³⁾、
山之内純^{3,4)}、田内久道⁵⁾、末盛浩一郎³⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 検査部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 血液・免疫・感染症内科
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部
- 5) 愛媛大学医学部附属病院 感染制御部

■日時：【奇数番号】12月5日 (金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日 (土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C02 (臨床・C) 日和見感染・悪性腫瘍・肺炎

P-C02-1 6-Thioguanine and 6-Mercaptopurine Induce Apoptosis and DNA Methylation Inhibition in Primary Effusion Lymphoma Cells

Achitphol Chookaew, Seiji Okada
Kumamoto University Joint Research Center
for Human Retrovirology

P-C02-2 抗 HIV 治療により縮小した EBV 陽性 HIV 関連悪性リンパ腫

中村信元¹⁾、辻真紀子²⁾、松下日菜子²⁾、
前田悠作³⁾、川田知代³⁾、堀 太貴³⁾、
住谷龍平³⁾、大浦雅博³⁾、曾我部公子³⁾、
藤井志朗³⁾、原田武志³⁾、三木浩和⁴⁾、
松岡賢市³⁾

- 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野
- 2) 徳島大学病院 卒後臨床研修センター
- 3) 徳島大学病院 血液内科
- 4) 徳島大学病院 輸血・細胞治療部

P-C02-3 HIV-1 感染者に発症した進行性多層性白質脳症の予後不良因子に関する単施設後方視的検討

上地隆史¹⁾、小西啓司¹⁾、廣田和之¹⁾、
西田恭治¹⁾、白阪琢磨¹⁾、上平朝子¹⁾、
渡邊 大^{1,2)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センターエイズ先端医療研究部

P-C02-4 HIV/HBV 共感染患者における HBs 抗原クリアランスの累積発生率と関連因子の検討

高林 学¹⁾、中村朋文²⁾、中田浩智³⁾、
安永純一郎²⁾、城野博史¹⁾、松下修三⁴⁾

- 1) 熊本大学病院薬剤部
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液・膠原病・感染症内科
- 3) 熊本大学病院感染免疫診療部
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法・血液疾患研究共同研究講座

一般演題 (ポスター)

■日時：12月5日(金) 13:30～14:30
■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C03 (臨床・C) SNS・コミュニケーション

P-C03-1 AI を用いた症状検索エンジンにて HIV 関連疾患が示されたユーザーの受診および受検行動に関わる因子の解析

今村顕史¹⁾、岩橋恒太²⁾、田口 直³⁾、
平原国博³⁾、原田圭輔³⁾、折茂圭介⁴⁾、
KuanYeh Lee³⁾

- 1) 都立駒込病院感染症科
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) ギリアド・サイエンス 株式会社
- 4) Ubie 株式会社

■日時：12月5日(金) 13:30～14:30
■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C04 (臨床・C) 臨床薬理・PK/PD

P-C04-1 カボテグラビルおよびリルピビリンの細胞内薬物濃度測定系の確立と臨床的評価

樋口裕哉¹⁾、柳澤邦雄^{3,4)}、松本 彬⁴⁾、
小川孔幸⁴⁾、内海英貴⁴⁾、半田 寛⁴⁾、
石崎芳美⁵⁾、荒木拓也^{1,2)}、山本康次郎^{1,2)}

- 1) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座
- 3) 深谷赤十字病院内科
- 4) 群馬大学医学部附属病院血液内科
- 5) 群馬大学医学部附属病院看護部

■日時：【奇数番号】12月5日(金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日(土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C05 (臨床・C) 薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

P-C05-1 持効性抗 HIV 注射薬への切替に伴う薬剤師による情報提供の実践

山中亜祐美¹⁾、木村三奈美¹⁾、成田久美¹⁾、
高橋宏瑞³⁾、佐々木信一²⁾、室岡邦彦¹⁾、
高瀬久光¹⁾

- 1) 順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科
- 2) 順天堂大学医学部附属浦安病院呼吸器内科
- 3) 順天堂大学医学部附属浦安病院総合診療科

P-C05-2 HIV 感染症患者専用トレーシングレポートフォーマットの作成と保険薬局との連携

早川史織¹⁾、畑下真希¹⁾、小川りさ¹⁾、
野村理恵¹⁾、金田 暁²⁾、関口昌利¹⁾

- 1) 国立病院機構千葉医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構千葉医療センター内科

P-C05-3 病院薬剤部と連携し保険薬局で初回 ART 導入時の服薬指導を行った症例

渡辺裕子^{1,2)}

- 1) くるみ薬局兵庫医大店
- 2) くるみ薬局武庫川店

P-C05-4 HIV Symptom Index を用いた問診票導入と薬剤による自覚症状の差の検討

小崎 華¹⁾、松木克仁¹⁾、羽柴知恵子²⁾、
今橋真弓^{3,4)}、平野隆司¹⁾、横幕能行⁴⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター看護部
- 3) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- 4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P-C05-5 継続した糸球体濾過速度の低下が認められた HIV 感染症患者の 1 例～トレーシングレポート及び薬薬連携による介入～

古田恵子^{1,2)}、松谷涼子¹⁾、手塚 進也³⁾、
水野 泰尚¹⁾、林 佑香⁴⁾、勝崎理恵子⁴⁾、
辻本雅之⁵⁾

- 1) 調剤薬局 amano 名古屋医療センター前 2 号店
- 2) 京都薬科大学履修証明プログラム
- 3) 調剤薬局 amano 桃花台店
- 4) 株式会社アマノ
- 5) 京都薬科大学 臨床薬学分野

P-C05-6 保険薬局が介入を行ったより服用容易なインテグラーゼ阻害薬への変更報告

山本順也

ココカラファイン薬局谷町四丁目駅店

P-C05-7 HIV 治療における併用禁忌薬の投与事例ードラビリンとフェノバルビタールの併用と医療連携の課題ー

宮本愛梨沙¹⁾、安岡紀登⁴⁾、迫田直樹³⁾、
中村美紀⁵⁾、中村雅洋²⁾

- 1) 都島センター薬局
- 2) 法円坂メディカル株式会社
- 3) 法円坂薬局
- 4) 北天神薬局天六店
- 5) きらめき薬局

P-C05-8 抗レトロウイルス療法中に血清反応陽性関節リウマチを発症し、薬剤師の関与を通じてメトトレキサートが導入され寛解を維持した一例

稲村由香¹⁾、上野匡庸^{2,3)}、宮川一平^{3,4)}、
田中美佐子⁵⁾、野田雅美⁶⁾、高峰優子⁷⁾、
田邊瑛美⁸⁾、清水少一⁹⁾、齋藤和義¹⁰⁾、
田中良哉⁴⁾、中山田真吾³⁾

- 1) 産業医科大学病院薬剤部
- 2) 産業医科大学病院 HIV 診療センター
- 3) 産業医科大学医学部第 1 内科学講座
- 4) 産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座
- 5) 産業医科大学病院看護部
- 6) 産業医科大学病院事務部 患者サービス課
- 7) HIV 診療カウンセラー
- 8) 福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
- 9) 産業医科大学医学部免疫・寄生虫学講座
- 10) 戸畑総合病院 内科

P-C05-9 HIV 感染症の透析患者の薬剤変更に関与した症例

移川基子¹⁾、黒田純子¹⁾、木村 哲²⁾

- 1) 福島県立医科大学附属病院 薬剤部
- 2) 福島県立医科大学 血液内科学講座

P-C05-10 薬剤師レジデント教育における HIV 感染症領域の習得度把握に関する調査

豊川顕世¹⁾、関 将行¹⁾、小林瑞季¹⁾、
増田純一¹⁾、湯永博之²⁾、西村富啓¹⁾

- 1) 国立国際医療センター 薬剤部
- 2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

P-C05-11 PLWH におけるポリファーマシーの現状調査

荒井雄樹、治田匡平、松尾理世、松井俊典、
谷田 彩、池田和之

奈良県立医科大学附属病院薬剤部

P-C05-12 在宅医療に携わる薬局薬剤師における HIV 診療に対する意識と今後の課題の検討

渡邊華鈴¹⁾、関根祐介¹⁾、富沢道俊²⁾、
古屋裕理¹⁾、池谷健一¹⁾、竹内裕紀¹⁾

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) とみざわ薬局

P-C05-13 PWH からの電話相談内容の変化と保険薬局に求められる機能の考察

小川和彦、彌重典子、重留佳代子

緑風会薬局

P-C05-14 当調剤薬局における大規模災害に備えた抗 HIV 薬の備蓄日数に関する調査

安岡紀登¹⁾、宮本愛梨沙¹⁾、迫田直樹²⁾、
中村美紀³⁾、中村雅洋⁴⁾

- 1) 都島センター薬局
- 2) 法円坂薬局
- 3) きらめき薬局
- 4) 法円坂メディカル株式会社

P-C05-15 HIV 感染症患者における院外保険薬局との連携強化ならびに患者支援の充実化を目的とした情報提供書の発行と情報共有の有用性の検証

平野 淳^{1,2)}、矢倉裕輝³⁾、増田純一⁴⁾、
山口泰弘⁵⁾、中内崇夫³⁾、松木克仁⁶⁾、
石井 良⁷⁾、石井聡一郎⁸⁾、國本雄介⁹⁾、
田澤佑基¹⁰⁾、井上正朝¹¹⁾、佐藤 萌¹²⁾、
三枝祐美¹³⁾、安田明子¹⁴⁾、白濱 航¹⁵⁾、
林 誠¹⁾

- 1) 東名古屋病院 薬剤部
- 2) 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 大阪医療センター 薬剤部
- 4) 国立国際医療センター 薬剤部
- 5) 九州医療センター 薬剤部
- 6) 名古屋医療センター 薬剤部
- 7) 新潟県立新発田病院 薬剤部
- 8) 広島大学病院 薬剤部
- 9) 札幌医科大学附属病院 薬剤部
- 10) 北海道大学病院 薬剤部
- 11) 旭川医科大学病院 薬剤部
- 12) 仙台医療センター 薬剤部
- 13) 新潟大学医学部総合病院 薬剤部
- 14) 石川県立中央病院 薬剤部
- 15) 県立広島病院 薬剤科

P-C05-16 トキソプラズマ脳症治療中に生じた副作用に対する薬剤師の介入が治療成功に寄与した症例

森田真由^{1,3)}、村田龍宣^{1,3)}、栃谷健太郎^{2,3)}

- 1) 京都市立病院 薬剤部
- 2) 京都市立病院 感染症科
- 3) 京都市立病院 感染管理センター

P-C05-17 抗 HIV 薬の院外処方せんにおける現状と課題

安田明子¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院薬剤部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-C05-18 薬剤師を対象とした HIV 勉強会の実施と意識調査

平田亮介、山口泰弘、梅本憂衣、藤田清香、
筒井結子、大橋邦央、藤瀬陽子、橋本雅司

NHO 九州医療センター

一般演題 (ポスター)

P-C05-19 血友病トレーシングレポートに関する調剤薬局アンケート調査

小泉陽奈子、山口泰弘、平田亮介、梅本憂衣、筒井結子、藤田清香、大橋邦央、藤瀬陽子、橋本雅司

国立病院機構九州医療センター

P-C06-4 当院における DTG/3TC 配合錠の有効性および安全性に関する検討

溝端友希¹⁾、宇高 歩¹⁾、塩田真帆¹⁾、藤井千賀¹⁾、中野光世²⁾、長谷川耕平²⁾、小川吉彦²⁾

1) 堺市立総合医療センター 薬剤科

2) 堺市立総合医療センター 感染症内科

■日時：【奇数番号】12月5日(金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日(土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C06 (臨床・C) 抗 HIV 療法

P-C06-1 Lenacapavir inhibits viral formation at the late stage of the HIV-2 life cycle

Consolata Rukondo, Kazuaki Monde, Wright Andrews ofotsu Amesimeku, Nami Monde, Hiromi Terasawa, Tomohiro Sawa

KUMAMOTO UNIVERSITY

P-C06-2 カボテグラビル・リルピビリン持続注射製剤使用患者への使用満足度と懸念事項に関する継続調査

奥田桜佳¹⁾、小林瑞季¹⁾、木村涼那¹⁾、岩月優菜¹⁾、沼田理子¹⁾、福嶋千穂¹⁾、関 将行¹⁾、長島浩二¹⁾、増田純一¹⁾、中本貴人²⁾、瀧永博之²⁾、西村富啓¹⁾

1) 国立国際医療センター 薬剤部

2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

P-C06-3 持効性カボテグラビル + リルピビリン切り替え後 24 ヶ月での PLWH の見解: 米国臨床観察研究の BEYOND 試験

細野耕平¹⁾、Franco Felizarta²⁾、Ogechika Alozie³⁾、Ryan Miller⁴⁾、Kate Nelson⁵⁾、Maria Reynolds⁵⁾、David Richardson⁵⁾、Kaitlin Nguyen⁶⁾、Paula Teichner⁶⁾、Cindy Garriss⁶⁾

1) ヴィーブヘルスケア株式会社

2) Private Practice, Bakersfield, CA, USA

3) Sunset West Health, El Paso, TX, USA

4) Cleveland Clinic Infectious Disease, Cleveland, OH, USA

5) RTI Health Solutions, Research Triangle Park, NC, USA

6) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA

P-C06-5 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 (令和 6 年度) 第 1 報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨¹⁾、川戸美由紀²⁾、橋本修二³⁾、三重野牧子⁴⁾、天野景裕⁵⁾、大金美和⁶⁾、岡本 学¹⁾、瀧永博之⁶⁾、日笠 聡⁷⁾、八橋 弘⁸⁾、渡邊 大¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター

2) 国立保健医療科学院

3) 藤田医科大学

4) 自治医科大学

5) 東京医科大学

6) 国立健康危機管理研究機構

7) 兵庫医科大学病院

8) 国立病院機構長崎医療センター

P-C06-6 HIV Viewpoints: Survey on the Experiences of People With HIV (PWH) Around the World

Xavier Guillaume¹⁾、Robin Barkins²⁾、Marcel Dams³⁾、Nomfundo Eland⁴⁾、Maureen Owino⁵⁾、Carlos Saucedo⁶⁾、Yun-Chung Lu⁷⁾、Amina Omri¹⁾、Alissar Moussallem¹⁾、Larkin Callaghan⁸⁾、Michael Bogart⁸⁾、Connie Kim⁸⁾、Keisuke Harada⁹⁾、Megan Dunbar⁸⁾

1) Oracle Life Sciences, Paris, France

2) To Restore, Unite, Support, and Transform, Los Angeles, CA, USA

3) Aidshilfe NRW e.V., Cologne, Germany

4) Emthonjeni Counselling & Training, Cape Town, South Africa

5) York University, Toronto, Ontario, Canada

6) Agenda LGBT A.C, Mexico City, Mexico

7) We As One Association, Taiwan

8) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA

9) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-C06-7 選択の力：新規診断 PLWH において DTG/3TC による迅速なウイルス抑制後の CAB+RPV LA への強い選好性

中村慎之介¹⁾、Franco Felizarta²⁾、Cassidy Gutner³⁾、Celia Jonsson-Oldenbüttel⁴⁾、Irina Kolobova³⁾、Jean-Michel Molina⁵⁾、Kai Hove⁶⁾、Sergio Lupo⁷⁾、Rekha Trehan⁶⁾、Juan Carlos López Bernaldo de Quirós⁸⁾、Julie Priest³⁾、Patricia de los Rios³⁾、Suryakant Somvanshi⁹⁾、Monika Bui¹⁰⁾、Louise Garside¹⁰⁾、Richard Grove¹⁰⁾、Harmony P. Garges³⁾、Kimberley Brown³⁾、Jean van Wyk⁶⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) Private Practice, Bakersfield, CA, USA
- 3) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 4) MVZ Munchen am Goetheplatz, Munich, Germany
- 5) Paris Cite University, Paris, France
- 6) ViiV Healthcare, London, UK
- 7) Instituto Centralizado de Asistencia e Investigacion Clinica Integral, Rosario, Argentina
- 8) Hospital General Universitario Gregorio Marañon, Madrid, Spain
- 9) GSK, Bengaluru, India
- 10) GSK, London, UK

P-C06-8 ABC/3TC/DTG または TAF/FTC/DTG から DTG/3TC への切り替えが日本人 PLWH の体重および脂質プロフィールに及ぼす影響

池谷健一¹⁾、村松 崇²⁾、関谷綾子^{2,3)}、関根祐介¹⁾、原田侑子²⁾、宮下竜伊²⁾、山口知子²⁾、一木昭人²⁾、近澤悠志²⁾、備後真登²⁾、四本美保子²⁾、萩原 剛²⁾、天野景裕²⁾、竹内裕紀¹⁾、木内 英²⁾

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

P-C06-9 テノホビル アラフェナミドを含む抗 HIV 薬の安全性（ビクトルビ配合錠、ゲンボイヤ配合錠）：一般使用成績調査の中間解析結果

田口 直¹⁾、大西真希子¹⁾、大脇一郎¹⁾、Margarida Serejo²⁾、KuanYeh Lee¹⁾、石崎昭伸¹⁾、Jami Peters²⁾

- 1) ギリアド・サイエンシズ 株式会社
- 2) Gilead Sciences, Inc

P-C06-10 Weight Change on F/TAF vs Placebo: Using Common F/TDF Groups to Bridge Data Across Clinical Trials

David Glidden¹⁾、Andrew Whiteman²⁾、Yuan Tian²⁾、Andrea Marongiu³⁾、Joshua Gruber³⁾、Yasuko Watanabe⁴⁾、Cal Cohen²⁾

- 1) University of California, San Francisco, CA, USA
- 2) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 3) Gilead Sciences Ltd, Stockley Park, UK
- 4) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-C06-11 当院における HIV 感染症に対する 2 剤療法法の検討

松本佑慈、村田昌之、中村啓二、下野信行
九州大学病院総合診療科

P-C06-12 BIC/TAF/FTC で HIV のウイルスコントロールに時間を要した 2 例

今村淳治¹⁾、佐藤 萌²⁾、山口英美²⁾、村多杏美²⁾、今 元季¹⁾、伊藤俊広¹⁾

- 1) NHO 仙台医療センター
- 2) NHO 仙台医療センター 薬剤部

P-C06-13 ドルテグラビル / ラミブジン 2 剤レジメンへの変更が QOL および睡眠に及ぼす影響

國本雄介¹⁾、又村了輔¹⁾、須釜佑介²⁾、後藤亜香利²⁾、堀口拓人²⁾、稗田広美³⁾、川村志野³⁾、平賀多絵子³⁾、宮越郁子³⁾、小船雅義³⁾、福土将秀¹⁾

- 1) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 2) 札幌医科大学附属病院血液内科
- 3) 札幌医科大学附属病院看護部

P-C06-14 当院におけるカボテグラビル+リルピペリン投与 24 ヶ月の有効性及び腎機能・血清脂質の変化に関する調査

石井聡一郎¹⁾、藤井健司¹⁾、山崎尚也²⁾、藤井輝久^{2,3)}、松尾裕彰¹⁾

- 1) 広島大学病院薬剤部
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室

P-C06-15 ビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミドからドルテグラビル/ラミブジンへ切り替えた患者の満足度評価

河野泰宏^{1,2)}、野田綾香^{1,2)}、安岡悠典^{1,2)}、
中村 葵²⁾、藤原千尋²⁾、飯塚暁子²⁾、
木梨貴博²⁾、片山智之²⁾、門田悦子²⁾、
野村直幸⁴⁾、高橋洋子¹⁾、齊藤誠司^{2,3)}、
濱岡照隆¹⁾、高田 遼¹⁾、濱砂恵理香⁴⁾、
坂田達朗²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構関門医療センター薬剤部

P-C06-16 ART 開始後に認める Blip の発現状況についての検討

山口公大^{1,2)}、石原正志^{3,4)}、生駒良和^{1,3,5)}、
杉山仁美^{3,6)}、鶴見 寿^{1,3,7)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科
- 2) 岐阜市民病院 血液内科
- 3) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター
- 4) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター
- 6) 岐阜大学医学部附属病院 看護部
- 7) 松波総合病院 血液・腫瘍内科

P-C06-17 CAB, RPV 注射製剤投与 5 カ月目から血糖値が上昇した薬剤耐性 HIV 感染症の 1 例

坂部茂俊¹⁾、渡部裕斗¹⁾、小池隆介²⁾、
田中宏幸²⁾、豊嶋弘一²⁾

- 1) 伊勢赤十字病院
- 2) 伊勢赤十字病院 感染症内科

P-C06-18 Biktarvy PTP 製剤の使用感と治療満足度について：単施設での予備的評価

吉野友祐^{1,2,3)}、北沢貴利²⁾、若林義賢²⁾

- 1) 帝京大学医学部微生物学講座
- 2) 帝京大学医学部附属病院 内科（感染症）
- 3) 帝京大学アジア国際感染症制御研究所

P-C06-19 実臨床観察研究 BEYOND における持効性カボテグラビル＋リルピビルン切り替え後 24 カ月の臨床アウトカム

伊部史朗¹⁾、Gary Blick²⁾、
Lizette Santiago-Colon³⁾、
David Richardson⁴⁾、Bintu Sherif⁴⁾、
Laurie Zografos⁴⁾、Cathy Schubert⁵⁾、
Deanna Merrill⁵⁾、Paula Teichner⁵⁾、
Cindy Garriss⁵⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門
- 2) Healthcare Advocates International, Stratford, CT, USA
- 3) HOPE Clinical Research, San Juan, Puerto Rico
- 4) RTI Health Solutions, Research Triangle Park, NC, USA
- 5) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA

P-C06-20 HIV-1 Resistance Analysis of Treatment-Naive People with HIV and Hepatitis B Virus (HBV) Receiving B/F/TAF or DTG+F/TDF

Michelle L. D'Antoni¹⁾、
Archana V Boopathy¹⁾、
Kristen Andreatta¹⁾、Silvia Chang¹⁾、
Jason T. Hindman¹⁾、
Anchalee Avihingsanon²⁾、
Laurie A. VanderVeen¹⁾、
Yusuke Hirabuki³⁾、
Christian Callebaut¹⁾

- 1) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 2) Thai Red Cross AIDS Research Centre, Bangkok, Thailand
- 3) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-C06-21 Renal Outcomes in People With HIV-1 (PWH) and Renal Impairment Treated With B/F/TAF (bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide) in Randomized Trials

Frank Post¹⁾、David Wohl²⁾、
Geoffroy Liegeon³⁾、Indira Brar⁴⁾、
Debbie Hagins⁵⁾、
Yazdan Yazdanpanah⁶⁾、
Anchalee Avihingsanon⁷⁾、Hui Liu⁸⁾、
Keith Aizen⁹⁾、Yutaka Kobayashi⁹⁾、
Jason Hindman⁸⁾、Samir Gupta¹⁰⁾

- 1) King's College Hospital NHS Foundation Trust, London, UK
- 2) University of North Carolina, Chapel Hill, NC, USA
- 3) Saint Louis-Hospital, AP-HP, Universite Paris Cite, Paris, France
- 4) Henry Ford Hospital, Detroit, MI, USA
- 5) Chatham CARE Center, Savannah, GA, USA
- 6) Bichat-Claude Bernard Hospital, APHP, Paris, France
- 7) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre, Bangkok, Thailand
- 8) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 9) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan
- 10) Indiana University School of Medicine, Indianapolis, IN, USA

P-C06-22 HBc 抗体単独陽性の成人 HIV-1 感染患者におけるドルテグラビル / ラミブジン (DTG/3TC) 療法：第 3 相臨床試験 GEMINI-1/-2、STAT、TANGO、及び SALSA の解析結果

藤武里梨¹⁾、Dainielle Fox²⁾、
Jihad Slim^{3,4)}、Edgar T. Overton²⁾、
Andres Doblado-Maldonado⁵⁾、
Peter Jeffery⁶⁾、Richard A. Grove⁶⁾、
Chris M. Parry⁷⁾、Mark Underwood²⁾、
Bryn Jones⁷⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 3) New York Medical College, Valhalla, NY, USA
- 4) Saint Michael's Medical Center, Newark, NJ, USA
- 5) ViiV Healthcare, Wavre, Belgium
- 6) GSK, London, UK

P-C06-23 PAIRED サブ解析 - 米国における BIC/FTC/TAF から DTG/3TC に切り替えた HIV 陽性者 (PWH) の治療経験アウトカム

岡本紀子¹⁾、Jihad Slim²⁾、
Andrew P Brogan³⁾、Gavin Harper⁴⁾、
Katie Mycock⁴⁾、Abigail McMillan³⁾、
Deanna Merrill³⁾、Gustavo Verdier⁵⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) New York Medical College, Valhalla, NY, USA
- 3) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 4) Adelphi Real World, Bollington, UK
- 5) ViiV Healthcare, Montreal, Canada

P-C06-24 Real-World Liver Outcomes in People With HIV and Hepatitis B Virus (HBV) Receiving Antiretroviral Therapy

Ching-Yi Chuo¹⁾、Woodie Zachry¹⁾、
Melanie de Boer¹⁾、Laura Telep¹⁾、
Tetsuya Tanikawa²⁾、Li Tao¹⁾

- 1) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 2) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

■日時：【奇数番号】12月5日(金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日(土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C07 (臨床・C)
看護・長期療養・チーム医療

P-C07-1 演題取り下げ

P-C07-2 長期作用型抗 HIV 注射剤導入における診療体制の構築および HIV 感染患者に及ぼした影響

乗松真大¹⁾、末盛浩一郎²⁾、宮崎雅美³⁾、
中川進平¹⁾、越智俊元²⁾、飛鷹範明¹⁾、
山之内純⁴⁾、田中 守¹⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部

一般演題（ポスター）

P-C07-3 糖尿病を合併した PLWH に対する薬剤管理指導の取り組みとその効果

寺本奈都子¹⁾、成田 雅²⁾、向井三穂子²⁾、
渡慶次真由美²⁾、屋良 愛³⁾、松田絵理菜³⁾、
安次富大³⁾、坂本政文³⁾、喜屋武芳美³⁾、
佐藤雅美³⁾、宮里早香³⁾

- 1) すこやか薬局新川店
2) 沖縄県南部医療センター・こども医療センター
3) (株) 薬正堂 すこやかグループ

P-C07-4 血液内科を有する病棟看護師の HIV 感染症患者の看護における経験と困難感

樋口祥子¹⁾、小林恵子¹⁾、堀内理奈¹⁾、
石崎芳美¹⁾、中村真美¹⁾、小川孔之²⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院看護部
2) 群馬大学医学部附属病院血液内科

P-C07-5 気持ちのつらさの変化に応じた診療体制の検討

高木雅敏¹⁾、中田浩智²⁾、宮本祐輔¹⁾

- 1) 熊本大学病院 看護部
2) 熊本大学病院 感染免疫診療部

P-C07-6 HIV 関連ニューモシスチス肺炎看護パスの運用の評価

影森彩夏¹⁾、前田愛子¹⁾、嶋津佑乃¹⁾、
井上桃花¹⁾、陳 麻理¹⁾、大木悦子²⁾、
河原崎彩佳³⁾、池田和子⁴⁾、潟永博之⁴⁾、
青木孝弘⁴⁾、照屋勝治⁴⁾、小林瑞季⁵⁾、
木村聡太⁴⁾

- 1) 国立国際医療センター 看護部
2) 国立看護大学校研究課程部
3) 人材開発部研修課
4) エイズ治療・研究開発センター
5) 国立国際医療センター薬剤部

P-C07-7 HIV 陽性者のストレス反応と看護の振り返り

高橋はるか、木村義子、福田美江、細川智代、
木田智子、市川隆裕

市立札幌病院看護部看護課

P-C07-8 若年の HIV と共に生きる人々（PLWH）における糖尿病合併 2 例からの学び

渡慶次真由美¹⁾、向井三穂子¹⁾、成田 雅¹⁾、
前田すぎの¹⁾、寺本奈都子²⁾

- 1) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
2) 株式会社薬正堂すこやか薬局グループ

P-C07-9 再診患者に対する電子問診票導入後の評価—患者アンケートの結果から

後藤志保^{1,2)}、喜花伸子²⁾、重信英子²⁾、
山崎 尚也³⁾、坂本涼子^{1,2)}、獅子田由美¹⁾、
福嶋琴美¹⁾、杉本悠貴恵²⁾、黄 寛美²⁾、
浦島藍子²⁾、藤井輝久^{2,3)}

- 1) 広島大学病院看護部
2) 広島大学病院エイズ医療対策室
3) 広島大学病院輸血部

P-C07-10 当院における HIV 感染症患者に対する注射剤による治療実績と患者報告アウトカム（PRO）の検討

加藤 笑、武道涼平、奥脇達也、持田俊也、
和田達彦、高山陽子

北里大学病院

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30

【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C08（臨床・C）

U=U と拳児希望・母子感染・歯科

P-C08-1 血友病患者の口腔環境・口腔機能 *Streptococcus mutans* 検出との関連性

新谷智章¹⁾、岡田美穂²⁾、川越麻衣子²⁾、
岩田倫幸³⁾、山崎尚也⁴⁾、藤井輝久⁴⁾、
柴 秀樹⁵⁾

- 1) 広島大学病院口腔検査センター
2) 広島大学病院診療支援部歯科部門
3) 広島大学大学院医系科学 研究科歯周病態学研究室
4) 広島大学病院輸血部
5) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C08-2 HIV 感染妊婦に対する多職種連携と HIV コーディネーターナースの位置付け～ HIV 母子感染予防対策への患者の思いに寄り添いながら支援した一例～

鈴木佳奈子¹⁾、佐々木晃子¹⁾、三浦麻衣²⁾、
佐藤 萌³⁾、村多 杏美³⁾、山口英美³⁾、
今村淳治²⁾、伊藤俊広²⁾

- 1) 国立病院機構仙台医療センター看護部
2) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科
3) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部

P-C08-3 HIV 感染妊婦の分娩対応に関する全国調査：分娩施設均てん化から地域均てん化への検討

吉野直人^{1,2)}、伊藤由子²⁾、岩動ちず子²⁾、
小山理恵²⁾、菊池琴佳²⁾、幅野 渉²⁾、
高橋尚子^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、田中瑞恵²⁾、
出口雅士²⁾、高野政志²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 愛知県立大学看護学部
- 2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

P-C08-4 HIV 感染妊娠における感染判明の機会に関する検討

湊 怜子^{1,2)}、杉浦 敦^{1,2)}、山中彰一郎²⁾、
竹田善則²⁾、市田宏司²⁾、小林裕幸²⁾、
中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、高野政志²⁾、
田中瑞恵²⁾、出口雅士²⁾、喜多恒和²⁾、
吉野直人²⁾

- 1) 武蔵野赤十字病院産婦人科
- 2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C09（臨床・C） 体重増加・副作用

P-C09-1 ドルテグラビル＋ラミブジンの2剤療法への変更による効果について

上原 仁¹⁾、大田久美子¹⁾、諸見牧子¹⁾、
神矢佑輔¹⁾、宮城京子²⁾、前田サオリ²⁾、
石郷岡美穂³⁾、前原一輝³⁾、上 薫³⁾、
照屋美波⁴⁾、山川奈津子⁵⁾、新里尚美⁶⁾、
金城隆展⁷⁾、井手口周平⁸⁾、仲村秀太⁸⁾、
中村克徳¹⁾

- 1) 琉球大学病院薬剤部
- 2) 琉球大学病院看護部
- 3) 琉球大学病院医療福祉センター
- 4) 琉球大学病院精神科神経科
- 5) 琉球大学病院検査・輸血部
- 6) 琉球大学病院第一内科
- 7) 琉球大学病院地域・国際医療部
- 8) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科

P-C09-2 抗 HIV 薬の簡素化がもたらす長期服薬に対する影響について

大田久美子¹⁾、上原 仁¹⁾、諸見牧子¹⁾、
神矢佑輔¹⁾、宮城京子²⁾、前田サオリ²⁾、
石郷岡美穂³⁾、前原一輝³⁾、上 薫³⁾、
照屋美波⁴⁾、山川奈津子⁵⁾、新里尚美⁶⁾、
金城隆展⁷⁾、井手口周平⁸⁾、仲村秀太⁸⁾、
中村克徳¹⁾

- 1) 琉球大学病院薬剤部
- 2) 琉球大学病院看護部
- 3) 琉球大学病院医療福祉センター
- 4) 琉球大学病院精神科神経科
- 5) 琉球大学病院検査・輸血部
- 6) 琉球大学病院第一内科
- 7) 琉球大学病院地域・国際医療部
- 8) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

■日時：12月5日（金）13:30～14:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C10（臨床・C） HAND・メンタルヘルス・薬物依存

P-C10-1 HIV 陽性者の中年期に注目した気分プロフィール検査の傾向

黄 寛美^{1,3)}、藤井輝久^{1,2)}、喜花伸子^{1,2)}、
杉本悠貴恵^{1,2)}

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

■日時：12月5日（金）13:30～14:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C11（臨床・C） PEP・PrEP・STI・STD

P-C11-1 都内性感染症専門クリニックにおける抗赤痢アメーバ血清抗体陽性率

柳川泰昭¹⁾、川島 亮¹⁾、塩尻大輔²⁾、
潟永博之¹⁾、渡辺恒二³⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 医療法人社団マキマ会/パーソナルヘルスクリニック
- 3) 東海大学医学部基礎医学系生体防御学領域

一般演題 (ポスター)

■日時：【奇数番号】12月5日(金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日(土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C12 (臨床・C) 臨床疫学

P-C12-1 当院 (HIV 中核地域拠点病院) における HIV screening 検査の偽陽性の検討

小川吉彦¹⁾、中野光世¹⁾、溝端友希²⁾、
長谷川耕平¹⁾、宇高 歩²⁾

1) 堺市立総合医療センター感染症内科
2) 堺市立総合医療センター薬剤科

P-C12-2 四国地方における HIV 診療の実態調査—
中核拠点病院の 2024 年レジストリ
データに基づく横断的解析

末盛浩一郎¹⁾、木原久文¹⁾、山之内純¹⁾、
乗松真大²⁾、池田 聖³⁾、武内世生⁴⁾、
中村美保⁵⁾、内田俊平⁶⁾、三木浩和⁷⁾、
尾崎修治⁸⁾、高田清武^{8,9)}

1) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
2) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
3) 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
4) 高知大学医学部附属病院 総合診療部
5) 高知大学医学部附属病院 看護部
6) 香川大学医学部附属病院 血液内科
7) 徳島大学病院 輸血・細胞治療部
8) 徳島県立中央病院 血液内科
9) 医療法人愛寿会 西条愛寿会病院

■日時：【奇数番号】12月5日(金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日(土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C13 (臨床・C) 薬剤耐性 (臨床)

P-C13-1 Circulating HIV-1 Integrase
Resistance Polymorphisms in
Tanzania

Hussein Mti Jumanne¹⁾、
Mako Toyoda²⁾、
Godfrey Barabona^{2,3)}、
Doreen Kamori^{2,3)}、
Takamasa Ueno^{1,2,3)}

1) Graduate School of Medical Sciences,
Kumamoto University
2) Division of Infection and Immunity, Joint
Research Center for Human Retrovirus
Infection, Kumamoto University
3) Department of Microbiology and
Immunology, College of Medicine, Muhimbili
University of Health and Allied Sciences,
Tanzania

P-C13-2 当院における未治療時および治療開始後
の HIV 薬剤耐性

菅野芳明^{1,2,3)}、菊地 正^{1,3)}、久保田めぐみ²⁾、
千光寺智恵²⁾、古賀道子^{1,2,5)}、安達英輔^{1,2)}、
四柳 宏^{1,2,4,5)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症
分野
3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ
研究センター
4) 国立健康危機管理研究機構
5) 東京大学国際高等研究所新世代感染症センター

■日時：【奇数番号】12月5日(金) 13:30～14:30
【偶数番号】12月6日(土) 14:40～15:40

■会場：ポスター会場 (3F 会議室 A2・3)

ポスター P-C14 (臨床・C) 症例報告

P-C14-1 HIV により重症ニューモシスチス肺炎を
発症し長期間の体外式膜型人工肺管理を
要したが ADL 自立し自宅退院した症例

藤内宏典、原田裕子、堀 弘明
北海道大学病院リハビリテーション部

P-C14-2 演題取り下げ

P-C14-3 外国籍の HIV 感染症合併結核 (HIV/TB)
患者に対して、TDF/FTC + DTG で治
療を行った一例

西 勇治^{1,2)}、白濱 航²⁾、岡本健志³⁾、
高田 昇⁴⁾

1) 県立安芸津病院薬剤科
2) 県立広島病院薬剤科
3) 県立広島病院総合診療科・感染症科
4) 前・おだ内科クリニック

P-C14-4 抗結核薬中止により複数回の再燃を認め
た長期にわたる結核免疫再構築症候群の
1 例

山岸郁美^{1,3)}、宇井雅博²⁾、霍間勇人²⁾、
袴田真理子²⁾、番場祐基²⁾、尾方英至²⁾、
柴田 怜³⁾、張 仁美²⁾、青木信将²⁾、
佐藤瑞穂³⁾、知久照真^{1,3)}、田村美喜³⁾、
新保明日香³⁾、青木美栄子³⁾、茂呂 寛³⁾、
菊地利明²⁾

1) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント
2) 新潟大学医学総合病院呼吸器感染症内科
3) 新潟大学医学総合病院感染管理部

一般演題（ポスター）

P-C14-5 HIV-1 感染者に発症したヒトヘルペスウイルス 8 型陽性の oligocentric キャスルマン病と考えられた 1 例

渡邊 大^{1,2,3)}、小西啓司²⁾、廣田和之²⁾、
上地隆史²⁾、辻西和幸⁴⁾、長手泰宏⁴⁾、
谷村 朗⁴⁾、廣瀬由美子⁵⁾、森 清⁵⁾、
西田恭治²⁾、白阪琢磨²⁾、上平朝子²⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科エイズ先端医療学
- 4) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血液内科
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床検査科

■日時：12月5日（金） 17:30～18:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-S01（社会・S） 検査相談・疫学

P-S01-1 NDB オープンデータより明らかとなった HIV 治療における性差の実態

福本 敦、矢崎有希、木村佳貴、吉野友祐
帝京大学 医学部

P-S01-2 民間臨床検査センターでの HIV 検査実施状況に関するアンケート調査（2022 年～2024 年）

佐野貴子¹⁾、近藤真規子²⁾、須藤弘二²⁾、
今井光信³⁾、加藤眞吾²⁾、今村顕史⁴⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 株式会社ハナ・メディテック
- 3) 田園調布学園大学
- 4) 東京都立駒込病院感染症科

P-S01-3 常設夜間休日検査相談場における「早期発見」から「早期治療」への受診動向と協働支援体制について

毛受矩子、熊本光代、上林孝子、大角順子、
徳永羊子、折井由美子、宮本伸枝、鎌田美恵子、
沢田恵美、藤本佳子、高田由紀子
NPO 法人スマートらいふネット

P-S01-4 在留外国人を主な対象とした多言語対応 HIV 検査の実施

北島 勉¹⁾、沢田貴志²⁾、宮首弘子³⁾、
Tran Thi Hue⁴⁾、Supriya Shakya⁵⁾、
仲村秀太⁶⁾、新里尚美⁷⁾、本田なつ絵⁸⁾、
生島 嗣⁹⁾、城所敏英¹⁰⁾、岡本博照¹¹⁾、
土屋菜歩¹²⁾

- 1) 杏林大学総合政策学部
- 2) 港町診療所
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神戸女子大学文学部
- 5) エイズ予防財団
- 6) 琉球大学大学院医学系研究科
- 7) 琉球大学病院第一内科
- 8) 獨協医科大学埼玉医療センター
- 9) ふれいす東京
- 10) 新宿区役所健康相談室
- 11) 杏林大学保健学部
- 12) やまと診療所栗原

P-S01-5 クリニックにおける MSM 向け HIV・性感染症検査キャンペーン・2024 年度実績報告

川畑拓也¹⁾、阪野文哉¹⁾、浜みなみ¹⁾、
陰山朋久²⁾、町登志雄²⁾、朝来駿一³⁾

- 1) 地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
- 2) MASH 大阪
- 3) ふれんどリー KOBE

■日時：12月5日（金） 17:30～18:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-S02（社会・S） 政策・医療体制

P-S02-1 「AIDS UPDATE」に対する看護師の認知度に関する調査

坂本涼子^{1,2)}、藤井輝久^{2,3)}、後藤志保^{1,2)}、
山崎尚也³⁾、喜花伸子^{2,3)}、重信英子^{2,3)}、
杉本悠貴恵^{2,3)}、佐々邊やよい¹⁾

- 1) 広島大学病院看護部
- 2) エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院輸血部

P-S02-2 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について～第 4 回シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝¹⁾、大金美和²⁾、杉野祐子²⁾、
高橋昌也²⁾、高木雅敏³⁾、吉田識未³⁾、
葛田衣重⁴⁾、木下佑子¹⁾、潟永博之²⁾

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 国立国際医療センター病院 / エイズ治療・研究開発センター
- 3) 熊本大学病院
- 4) 千葉大学医学部附属病院

一般演題（ポスター）

P-S02-3 HIV 感染症患者の療養支援に関する心理職と MSW の協働について～第 1 回心理職と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝¹⁾、木村聡太²⁾、高橋昌也²⁾、北上早紀³⁾、富永誠記³⁾、高村佳幸⁴⁾、葛田衣重⁵⁾

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 国立国際医療研究センター病院 / エイズ治療・研究開発センター
- 3) 徳島大学病院
- 4) 順天堂医院
- 5) 千葉大学医学部附属病院

P-S03-4 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 6 年度）第 2 報 悩みやストレスの状況の年次推移

三重野牧子¹⁾、川戸美由紀²⁾、橋本修二³⁾、天野景裕⁴⁾、大金美和⁵⁾、岡本 学⁶⁾、潟永博之⁵⁾、日笠 聡⁷⁾、八橋 弘⁸⁾、渡邊 大⁶⁾、白阪琢磨⁶⁾

- 1) 自治医科大学情報センター
- 2) 国立保健医療科学院
- 3) 藤田医科大学
- 4) 東京医科大学
- 5) 国立健康危機管理研究機構
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

■日時：12月5日（金） 17:30～18:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-S03（社会・S）
薬害・陽性者支援

P-S03-1 HIV 陽性者との接触可能性が偏見の態度に及ぼす影響：行動免疫システムの観点から

上條慎子^{1,2)}、谷内 通²⁾

- 1) 帝京大学文学部心理学科
- 2) 金沢大学人間社会研究域

P-S03-2 日本に移住する HIV 陽性者が治療を継続するための実践

竹野 翠¹⁾、青木理恵子¹⁾、松浦基夫^{1,2)}、白野倫徳^{1,3)}

- 1) 特定非営利活動法人 CHARM
- 2) 中村クリニック
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P-S03-3 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 6 年度）第 3 報 現在の困り事、将来の不安と支援の希望の状況

川戸美由紀¹⁾、大金美和²⁾、岡本 学³⁾、三重野牧子⁴⁾、橋本修二⁵⁾、天野景裕⁶⁾、潟永博之²⁾、日笠 聡⁷⁾、八橋 弘⁸⁾、渡邊 大³⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 国立保健医療科学院
- 2) 国立健康危機管理研究機構
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 自治医科大学
- 5) 藤田医科大学
- 6) 東京医科大学
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

P-S03-5 HIV 感染血友病患者に対する身体機能評価と生活支援に関する取り組み ーメディカルチェック＋α事業の実践報告ー

南 雅子¹⁾、片田圭一¹⁾、前田悠志¹⁾、石井智美²⁾、渡邊珠代³⁾

- 1) 石川県立中央病院リハビリテーション室
- 2) 石川県立中央病院看護部
- 3) 石川県立中央病院診療部

P-S03-6 首都圏の緩和ケア病棟に転院した要介護状態にある一人暮らしの HIV 感染血友病患者について

三嶋一輝¹⁾、柿沼章子²⁾

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

P-S03-7 当院へ通院中の HIV 陽性者の居住地域からみえる現状と課題

山田栞里¹⁾、石井智美²⁾、車 陽子²⁾、辻 典子¹⁾、渡邊珠代³⁾

- 1) 石川県立中央病院 HIV 事務室
- 2) 石川県立中央病院看護部
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-S03-8 女性 HIV 陽性者の集い「多文化キャンプ」18 年の軌跡

オンバダ 香織¹⁾、青木理恵子¹⁾、竹野 翠¹⁾、三田洋子¹⁾、松浦基夫²⁾、白野倫徳³⁾、来住知美⁴⁾

- 1) 特定非営利活動法人 CHARM
- 2) 中村クリニック
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 4) 日本パプテスト病院総合内科